

吳市教育委員会議題
(平成29年8月22日定例会)

吳市教育委員会

平成29年8月22日

呉市教育委員会定例会日程

- 1 会期決定について
- 2 前回会議の報告
- 3 教議第28号 平成30年度教職員人事異動に係る呉市教育委員会の方針について
- 4 報告第20号 寄附受納について
- 5 報告第21号 文教企業委員会の所管事務調査（「教員の勤務実態」について）
- 6 教議第29号 「教育委員会事務点検・評価報告書（平成28年度事務事業対象）」について
- 7 教議第30号 平成30年度使用教科用図書の採択について（呉高等学校用）
- 8 教議第31号 平成30年度使用教科用図書の採択について（小中学校特別支援学級用）
- 9 教議第32号 平成30年度使用教科用図書の採択について（小学校用「特別の教科
道徳」）

教議第 2.8 号

平成 30 年度教職員人事異動に係る呉市教育委員会の方針について

平成 30 年度教職員人事異動に係る呉市教育委員会の方針

人事の取扱いについては、全て厳正公平を旨としてこれを行い、教職員の組織の刷新充実を図り、清新にして堅実な気風の醸成に努め、教育効果を最高度に発揮することができるよう校長意見を重んじ、最善の措置をする。

1. 学校相互間において、教職員組織の適正化を図るとともに、行政機関及び学校種別間においても、適正な配置換を行う。
2. 同一校あるいは、同一地域に相当期間にわたって在職する者については、積極的に配置換を行う。ただし、特別な理由がある場合はこの限りではない。
3. 人事配置に当たっては適材適所を旨とし、教育に対する情熱、健康、人物、識見及び指導力を重視する。
4. 呉高等学校と県及び他市の学校との交流を積極的に推進する。
5. 県費負担教職員人事については、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の趣旨を踏まえ、県教育委員会と一層密接な連携を図るとともに、計画的に配置する。

議案資料

平成30年度教職員人事異動に係る呉市教育委員会の方針について

昨年度	今年度
<p data-bbox="156 344 774 427">平成29年度教職員人事異動に係る呉市教育委員会の方針</p> <p data-bbox="156 495 774 770">人事の取扱いについては、全て厳正公平を旨としてこれを行い、教職員の組織の刷新充実を図り、清新にして堅実な気風の醸成に努め、教育効果を最高度に発揮することができるよう校長意見を重んじ、最善の措置をする。</p> <ol data-bbox="161 831 774 1637" style="list-style-type: none"> 1 学校相互間において、教職員組織の適正化を図るとともに、行政機関及び学校種別間においても、適正な配置換を行う。 2 同一校あるいは、同一地域に相当期間にわたって在職する者については、積極的に配置換を行う。ただし、特別な理由がある場合はこの限りではない。 3 人事配置に当たっては適材適所を旨とし、教育に対する情熱、健康、人物、識見及び指導力を重視する。 4 呉高等学校と県及び他市の学校との交流を積極的に推進する。 5 県費負担教職員人事については、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の趣旨を踏まえ、県教育委員会と一層密接な連携を図るとともに、計画的に配置する。 	<p data-bbox="802 344 1404 427">平成30年度教職員人事異動に係る呉市教育委員会の方針</p> <p data-bbox="802 495 1420 770">人事の取扱いについては、全て厳正公平を旨としてこれを行い、教職員の組織の刷新充実を図り、清新にして堅実な気風の醸成に努め、教育効果を最高度に発揮することができるよう校長意見を重んじ、最善の措置をする。</p> <ol data-bbox="807 831 1404 1637" style="list-style-type: none"> 1 学校相互間において、教職員組織の適正化を図るとともに、行政機関及び学校種別間においても、適正な配置換を行う。 2 同一校あるいは、同一地域に相当期間にわたって在職する者については、積極的に配置換を行う。ただし、特別な理由がある場合はこの限りではない。 3 人事配置に当たっては適材適所を旨とし、教育に対する情熱、健康、人物、識見及び指導力を重視する。 4 呉高等学校と県及び他市の学校との交流を積極的に推進する。 5 県費負担教職員人事については、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の趣旨を踏まえ、県教育委員会と一層密接な連携を図るとともに、計画的に配置する。

寄附受納について(報告)

文化振興課

呉市立美術館の美術品として、横山日出海氏及び船田富士男氏より次のとおり寄附の申し込みがあったので、これを受納した。

寄附作品(横山氏)

No.	分類	作者	題名	評価額(円)	取得年月日
1	日本画	船田玉樹 (1912-1991)	飛泉	300,000	平成29年8月9日
2			二級滝の雪	300,000	平成29年8月9日
3			淵(一)	300,000	平成29年8月9日
4			淵(二)	350,000	平成29年8月9日
5			安芸の二級滝(黒)	350,000	平成29年8月9日
6			滝の夜(一)	300,000	平成29年8月9日
7			石内風景	300,000	平成29年8月9日
8			滝の夜(二)	300,000	平成29年8月9日
9			安芸の白糸	350,000	平成29年8月9日
10			竜の口	300,000	平成29年8月9日
11			冬の水	300,000	平成29年8月9日
12			潮音(海)	300,000	平成29年8月9日
13			潮音(岩)	350,000	平成29年8月9日
14			安芸の二級滝(青)	250,000	平成29年8月9日
				4,350,000 円	

寄附作品(船田氏)

No.	分類	作者	題名	評価額(円)	取得年月日
1	日本画	谷口仙花 (1910-2001)	レースのショール	300,000	平成29年8月9日
2			黄色い着物	300,000	平成29年8月9日
3			笹の着物	300,000	平成29年8月9日
4			赤い着物	300,000	平成29年8月9日
5			朝顔	100,000	平成29年8月9日
6			桜	100,000	平成29年8月9日
7			林檎を持つ子ども	100,000	平成29年8月9日
8			湖畔の聖母	150,000	平成29年8月9日
9			聖母子	100,000	平成29年8月9日
10			童女	100,000	平成29年8月9日
11			景清	100,000	平成29年8月9日
12			スイートピーと紫露草	80,000	平成29年8月9日
13			芍薬	50,000	平成29年8月9日
14			木槿と鳳仙花	80,000	平成29年8月9日
15			桃	50,000	平成29年8月9日
				2,210,000 円	

船田玉樹(ふなだ ぎよくじゅ)の略歴

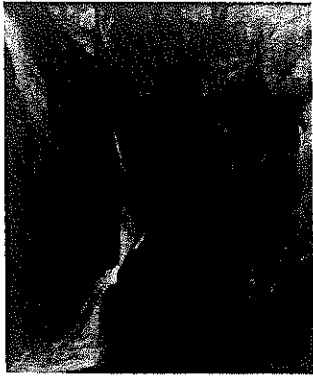
- 1912(大正元)年 10月29日、賀茂郡広村(現・呉市広町)に生まれる。本名・信夫。
- 1932(昭和 7)年 広島洋画研究所で山路商に師事。半年後上京、番衆技塾に入り、日本画に転向。
- 1934(昭和 9)年 速水御舟(1894～1935)に師事。御舟没後、小林古徑に師事する。
- 1936(昭和11)年 第23回院展で「朝の花」初入選。この年以後「玉樹」と号す。
- 1938(昭和13)年 丸木位里、岩橋永遠らと歷程美術協会を結成(1939年退会)。
第2回自由美術家協会展に出品(第3,4回)。第1回歷程美術協会展に出品(第2回)。
- 1944(昭和19)年 応召。健康上の理由で除隊し、呉市に帰郷(後に広島市に転居)。
- 1946(昭和21)年 呉美術協会設立に伴い理事に就任。
- 1948(昭和23)年 第33回院展で「雪の九品佛」「毛越寺庫裏」が佳作賞。
- 1955(昭和30)年 第40回院展で「安芸の涅槃山」が奨励賞(白寿賞)。
- 1956(昭和31)年 第41回院展で「残照」が奨励賞。
- 1963(昭和38)年 日本美術院を脱退して新興美術院に移り、理事となる。
- 1965(昭和40)年 平田春潮らと新興美術院広島支部を結成(1975年まで所属、出品)。
- 1968(昭和43)年 この頃広島に移る。広島県立美術館協議会委員となる(～1977年)。
- 1975(昭和50)年 新興美術院を退会、以後無所属。個展を主な発表の場とする。
- 1991(平成 3)年 2月4日死去、78歳。

谷口仙花(たにぐち せんか)の略歴

- 1910(明治43)年 8月2日、東京に生まれる。本名・富美枝。
- 1930(昭和 5)年 川端龍子に師事。第2回青龍社展で《麥秋》が初入選。
- 1931(昭和 6)年 女子美術専門学校高等科日本画部卒業。文化学院美術部に入学。
- 1932(昭和 7)年 女子美術専門学校日本画部卒業生による第1回青柿社展に《きび實る》を出品。第4回青龍社展に《農女》を出品。
- 1933(昭和 8)年 第1回春の青龍社展に《はらっぱ》を出品。文化学院美術部専修科に進学。第2回青柿社展に《車内》《御針》《母習作》を出品。第3回日本版画協会展(兼・於巴里日本現代版画展準備展)に《バスガール》を出品。
- 1934(昭和 9)年 文化学院美術部専修科を卒業。第2回春の青龍社展に《受信》《日向ぼっこ》を出品。第9回国画会展に木版《耕地》を出品。第3回青柿社展に《上林雪景》《レビュー一景》《F嬢之図》を出品。第6回青龍社展に《スポーツ工場》《舗道を行く》を出品、社友となる。
- 1935(昭和10)年 第3回春の青龍社展に《実験室》《帯》を出品。第10回国画会展に木版《着物》を出品。第7回青龍社展に《装ふ人々》《海風》を出品、《装ふ人々》がY氏賞。
- 1936(昭和11)年 第4回春の青龍社展に《校章》《ものぐるひ》を出品。第8回青龍社展で《海の憩ひ》《山の憩ひ》がY氏賞。
- 1937(昭和12)年 第5回春の青龍社展に《窯》《鏡》を出品。第9回青龍社展に《高原に展く》を出品。
- 1938(昭和13)年 第1回清尚会展に《秋の娘》《冬の娘》《薔薇》を出品。第6回春の青龍社展に《ヒコーキ》《愛國行進曲》を出品。青龍社を脱退。
- 1939(昭和14)年 東京・銀座紀伊國屋で第1回個展を開催。この頃から雅号を仙花とする。
- 1940(昭和15)年 東京・資生堂ギャラリーで第2回個展を開催。
- 1941(昭和16)年 大阪・朝日ビルで谷口仙花個展を開催。
- 1942(昭和17)年 四谷で能を鑑賞し感銘を受ける。以後、能に傾倒していく。
- 1944(昭和19)年 船田玉樹と結婚。11月頃、船田玉樹の郷里・呉市へ疎開。
- 1946(昭和21)年 新憲法公布記念絵画公募展で知事賞。
- 1948(昭和23)年 第3回呉市美術公募展で市長賞。
- 1949(昭和24)年 第1回広島美術展覧会で船田玉樹とともに審査員。第5回展まで続ける。
- 1953(昭和28)年 船田玉樹と離婚。第4回埼玉県美術展工芸の部で《観音》が知事賞。日本画の部に《秋装》を招待出品。
- 1954(昭和29)年 谷口富美枝小品画展を開催。第8回女流画家協会展に《花苑の聖母子》《花の朝》を出品、会員となる。浦和・こばると画廊で谷口富美枝個展「能の幻想—油・染色・水墨—」を開催。
- 1955(昭和30)年 第5回埼玉県美術展書道の部で《七彩》が入選。日本画の部に《伊勢物語》を招待出品。工芸の部に《額面 街》《額面 作品A》を無鑑査出品。米国籍のチャールズ・ジュゾー・ウメムラと結婚、渡米。
- 1957(昭和32)年 チャールズ・ジュゾー・ウメムラと離婚。
- 2001(平成13)年 ロサンゼルスで死去、91歳。

寄附作品(横山氏)

日本画



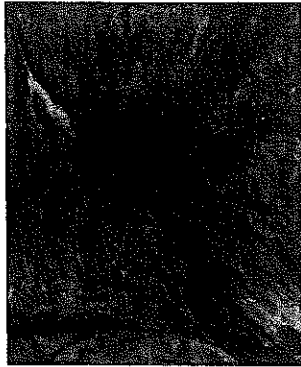
1 船田玉樹《飛鳥》1961(昭和36)年
90.0×75.0 彩色・紙・額装



2 船田玉樹《二級滝の霧》1961(昭和36)年
90.8×60.5 彩色・紙・額装

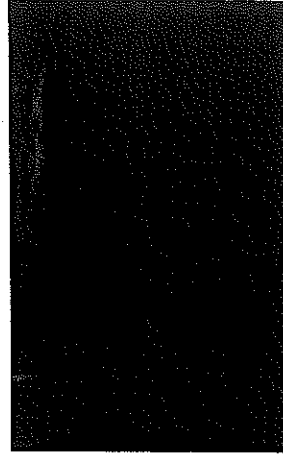


3 船田玉樹《源(一)》1961(昭和36)年
90.3×75.9 彩色・紙・額装

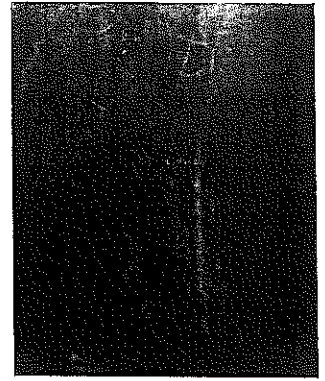


4 船田玉樹《源(二)》1961(昭和36)年
91.1×75.9 彩色・紙・額装

日本画



5 船田玉樹《安室の二級滝(黒)》1961(昭和36)年
90.9×60.5 彩色・紙・額装



6 船田玉樹《海の夜(一)》制作年不詳
91.2×75.8 彩色・紙・額装

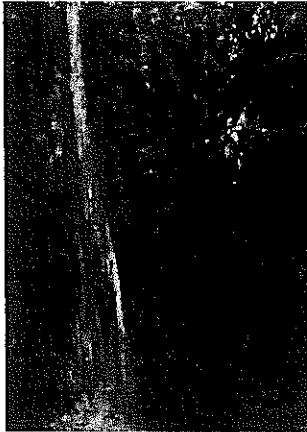


7 船田玉樹《石内風景》1961(昭和36)年
90.7×75.9 彩色・紙・額装

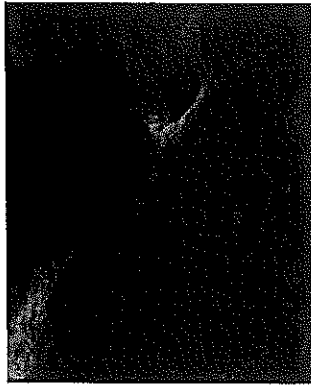


8 船田玉樹《海の夜(二)》制作年不詳
91.1×60.9 彩色・紙・額装

日本画



9 船田玉樹《安室の白糸》1961(昭和36)年
91.2×60.7 彩色・紙・額装

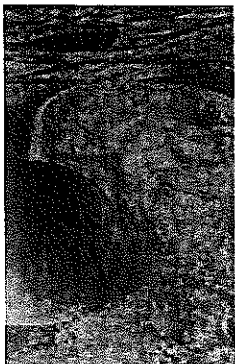


10 船田玉樹《竜の口》1961(昭和36)年
91.0×75.8 彩色・紙・額装

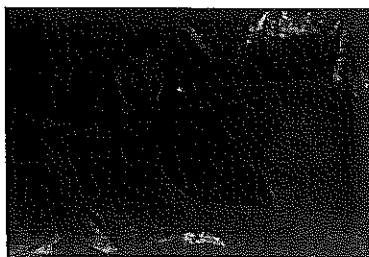
日本画



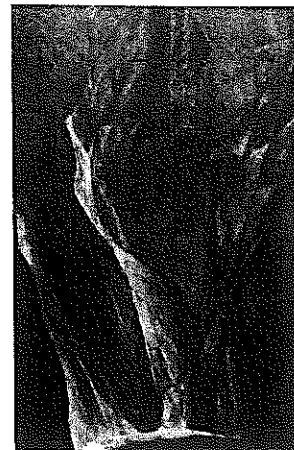
13 船田玉樹《潮音(岩)》制作年不詳
60.5×90.9 彩色・紙・額装



11 船田玉樹《冬の水》1961(昭和36)年
91.0×60.5 彩色・紙・額装



12 船田玉樹《潮音(海)》制作年不詳
60.5×80.9 彩色・紙・額装



14 船田玉樹《安室の二級滝(青)》1961(昭和36)年
91.1×80.7 彩色・紙・額装

日本画



1 谷口仙花 《レースのショール》
1935-55(昭和10-30)年頃 145.9×50.3
彩色・絹



2 谷口仙花 《黄色い着物》
1935-55(昭和10-30)年頃 145.9×50.3

日本画



3 谷口仙花 《世の着物》
1935-55(昭和10-30)年頃 145.7×51.4
彩色・絹

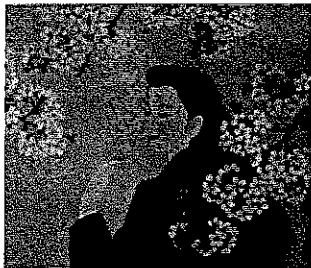


4 谷口仙花 《赤い着物》
1935-55(昭和10-30)年頃 145.9×51.5
彩色・絹

日本画



5 谷口仙花 《朝顔》 1940-55(昭和15-30)年頃
49.8×57.3 彩色・絹

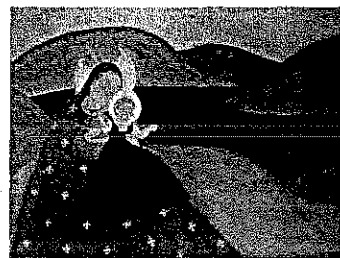


6 谷口仙花 《桜》 1940-55(昭和15-30)年頃
49.8×57.3 彩色・絹



7 谷口仙花 《林檎を持つ子ども》 1945(昭和20)年
44.1×51.1 彩色・絹

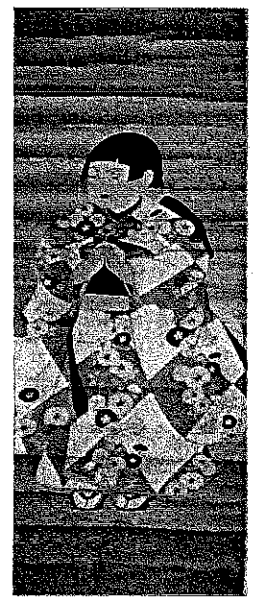
日本画



8 谷口仙花 《湖畔の聖母》 1939(昭和14)年
85.6×91.6 彩色・紙



9 谷口仙花 《聖母子》 1940-55(昭和15-30)年頃
56.5×69.0 彩色・絹



10 谷口仙花 《童女》 1941(昭和16)年
139.0×51.0 彩色・紙



11 谷口仙花《昼清》1942-55(昭和17-30)年頃
60.3×45.7 墨・紙



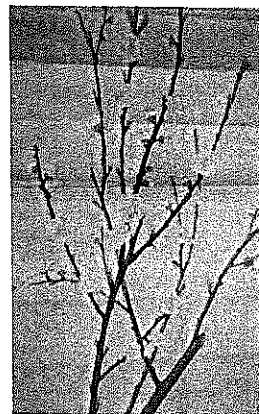
13 谷口仙花《芍薬》1928-31(昭和3-6)年頃
35.9×28.4 彩色・紙



12 谷口仙花《スイートピーと紫露草》
1928-31(昭和3-6)年頃 53.1×37.3 彩色・紙



14 谷口仙花《木蓮と鳳仙花》1928(昭和3)年頃
51.3×37.2 彩色・紙



15 谷口仙花《桃》1929-30(昭和4-5)年
47.0×37.0 彩色・紙

寄附の経緯

・船田玉樹作品

玉樹のご子息、横山日出海氏から、寄附の申し出があった。

今回寄附していただく作品は、呉市広の二級峽やその周辺の風景を描いたものであり、非常に地域性の高いものであることから、ぜひ呉市立美術館に収蔵して欲しいとの意向。

・谷口仙花作品

仙花のご子息、船田富士男氏から、寄附の申し出があった。

今回寄附していただく作品は、いずれも仙花が残した遺品であり貴重な作品であるが、美術館に寄贈して多くの人に見ていただく方がよいと考えた。谷口仙花は呉ゆかりの作家でもあり、かねてより仙花に関する調査を行ってきた呉市立美術館に収蔵して欲しいとの意向。

教員の勤務実態について

1 呉市の現状

(1) 教職員へのアンケート調査

- [調査名] 学校の業務改善に係るアンケート
- [対象] 呉市立学校に在籍している全ての常勤の教職員
- [調査期間] 平成28年9月8日(木)～平成28年9月28日(水)

ア 調査結果

(ア) 学校業務についての意識

設問	肯定的な回答の割合 (%)	
	小学校	中学校
a 児童・生徒と向き合う時間(※1)が確保できている。	54.0	56.2
b aのうち、部活動、個別指導(学習補充、進路指導、生徒指導)が確保できている。	51.0	54.7
c 日々の業務の中で、充実感を得られている。	79.8	73.4
d 担当業務(授業以外)について、上司に理解されていると感じる。	90.0	88.0
e 教職員間で業務の手助けなど、互いに頼みやすい雰囲気があると感じている。	90.2	84.7
f 新たな取組を行う場合、既存の取組の縮小や廃止等、スクラップアンドビルドを行っている。	53.1	51.1
g 業務の進捗状況が把握され、必要に応じて業務分担の見直しや進捗調整等がなされている。	67.0	58.7

- ※1 授業、授業準備、週案(※2)・指導略案作成、部活動、個別指導(学習補充、進路指導、生徒指導)
- ※2 1週間の授業の計画及び指導の記録

(イ) 1週間当たりの勤務状況

内容	平均時間(時間)	
	小学校	中学校
平日(5日)の勤務時間外に学校で業務を行う時間(部活動を含む)の合計	11.4	11.5
平日(5日)に持ち帰り業務を行う時間の合計	3.6	2.9
週休日(2日)に学校等で業務を行う時間(部活動を含む)の合計	1.1	5.0
週休日(2日)に持ち帰り業務を行う時間の合計	4.1	2.3

(ウ) 1週間当たりの業務に係るおよその時間の合計

内容	合計時間の平均(時間)	
	小学校	中学校
授業	22.1	16.9
授業準備	8.8	8.7
週案・指導略案作成	2.9	2.5
学習補充、生徒指導、進路指導	2.9	3.5
部活動	—	10.0
会議・研修	2.9	2.5
事務・報告書作成	4.1	3.8

イ 傾向

- (ア) 児童・生徒と向き合う時間が確保できていると回答している教職員は、50%を少し超える程度である。
- (イ) 勤務する職場の環境については、多くの教職員が肯定的な回答をしている。
- (ウ) スクラップアンドビルドや業務分担の見直しについては、肯定的な回答の割合は高くない。

(2) 学校事務の軽減化推進プロジェクト委員会の調査

[平成28年度における「学校への発出文書」の件数について]

	学校への発出文書 (全体)	学校の作業が発生する文書
合計	2,733 件	816 件
(発出元別内訳)		
国	33 件	26 件
県	1,789 件	484 件
市	811 件	299 件
その他※3	100 件	7 件

※3 中核市からの照会等

ア 傾向

- (ア) 学校への発出文書の割合は、国が約1%、県が約65%、市が約30%を占めており、県の割合が全体の半数以上を占めている。
- (イ) 学校の作業が発生する文書の割合は、国が約3%、県が約59%、市が約37%を占めており、県の割合が全体の半数以上を占めている。

2 課題

- (1) 組織的なスクラップアンドビルドや業務の進捗管理の推進
- (2) 週案等の簡略化や授業準備の効率化
- (3) 教育委員会からの発出文書の省力化及び簡略化

3 現在の市教委の取組

- (1) 校務支援システムの導入
- (2) 部活動に週当たり1日以上 of 休業日を設定
- (3) 夏季一斉閉庁の試行実施
- (4) 業務改善モデル校における効果的な取組の普及

4 今後の方向性

(1) 学校事務の軽減化推進プロジェクト委員会の取組

- ア 教職員が学校において子どもと向き合う時間を確保するための調査研究
- イ 調査研究に基づく学校事務の軽減化に向けた取組

(2) 全校を対象とした学校の業務改善に係るアンケート調査

- ア アンケート調査の実施及び分析
- イ アンケート調査結果を校長会・教頭会において周知

教議第29号

「教育委員会事務点検・評価報告書（平成28年度事務事業対象）」について

教育委員会事務点検・評価報告書

（平成28年度事務事業対象）

平成29年 8月

呉市教育委員会

目 次

I はじめに

1 点検及び評価の趣旨	1
2 呉市教育委員会の点検及び評価	
(1) 手順	2
(2) 対象	2
(3) 方法	2
3 知見の活用	3

II 呉市教育委員会の概要

1 教育委員会委員	4
2 教育委員会会議	
(1) 平成28年度議決事項	4
(2) 平成28年度報告事項	5
3 研修会等への参加状況	
(1) 会議・研修会	6
(2) 行事等	7
(3) 学校訪問・公開研究会等	7
(4) その他	7

III 点検及び評価の結果

1 平成28年度対象課題と評価結果	8
2 「第4次呉市長期総合計画」における対象課題の位置付け	
(1) 重点プロジェクト	9
(2) 基本政策	9

(平成29年度点検・評価シート)

・遠距離等通学児童生徒に対する支援 (教育総務課)	10
・普通教室への空調設備の設置 (学校施設課)	12
・学校施設の耐震化 (学校施設課)	14
・中学校給食の実施 (学校施設課)	16
・小中一貫教育の推進 (学校教育課)	18
・文化・芸術体験活動の推進 (学校教育課)	20
・教職員の資質の向上 (学校教育課)	22

・特別支援教育の推進（学校安全課）	24
・生徒指導の充実（学校安全課）	26
・安全対策の推進（学校安全課）	28
・青少年健全育成事業の推進（文化振興課）	30
・文化財の活用と管理（文化振興課）	32
・図書館サービスの向上（中央図書館）	34
・図書館の適正な管理運営（中央図書館）	36

I はじめに

1 点検及び評価の趣旨

教育委員会の責任を明確にするため、平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）」が改正され、平成20年度から、教育委員会は毎年度、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、市民に公表することが義務付けられました。

本報告書は、平成28年度の呉市教育委員会に属する事務（市長部局に事務移管された文化・スポーツに関する事務を除く。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行った結果を、教育に関し学識経験を有する者の意見を付して、報告するものです。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

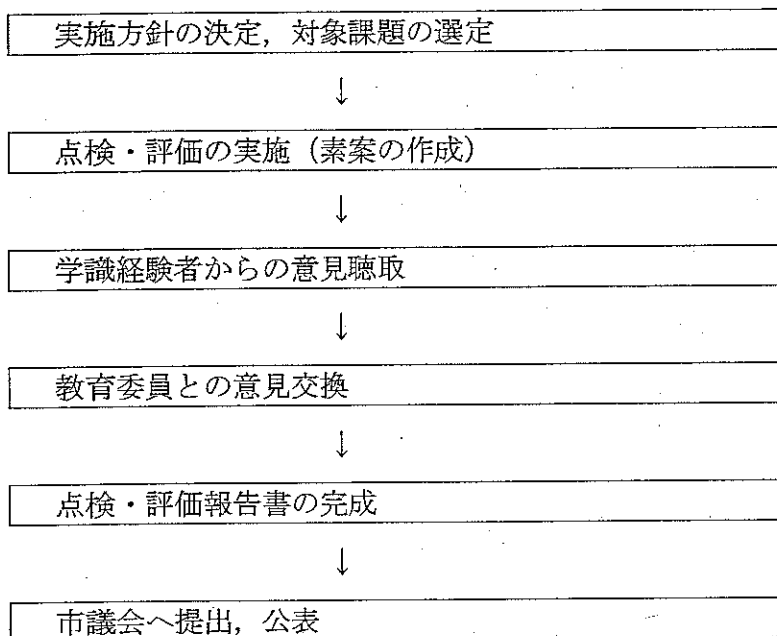
第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 呉市教育委員会の点検及び評価

(1) 手順

平成28年度に呉市教育委員会において執行した事務事業について、次の手順で点検及び評価を行いました。



(2) 対象

点検及び評価は、各部署が抱えている課題のうち、それぞれが平成28年度の重点課題と位置付けているもの（全14課題を抽出。以下「対象課題」という。）を対象としました。

※本報告書では、対象課題ごとに課題解決に向けて実施した事務事業の分析・評価を通じて、今後の取組を検討しています。対象課題については、9ページ「平成28年度対象課題と評価結果」を参照してください。

(3) 方法

点検及び評価は、各部署が抽出した対象課題ごとに、次の内容を明らかにすることにより行いました。

- ・成果目標
- ・平成28年度事業（取組）実績
- ・事業費
- ・達成事項（成果），課題
- ・課題解決の取組
- ・学識経験者の意見
- ・評価（評価結果，今後の取組・方向性）

■具体的な点検・評価の方法は…

対象課題ごとに、「課題解決のためにどんな取組を行ったのか」、「なぜ課題を克服できなかったのか」、「課題を克服するために何が必要か」という視点で点検・評価を行い、学識経験者の意見を踏まえ、達成状況等を評価し、「今後何が必要か、次年度以降にどうつなげていくのか」などについて「今後の取組・方向性」としてまとめています。

■評価（評価結果）の判断基準…

評価に当たっては、対象課題ごとに、「事業（取組）実績」、「事業費」、「成果・課題」、「課題取組」の各項目を総合的に考察し、取組に対する達成状況を以下の基準に沿って評価しました。

指 標	評 価 に 当 た っ て の 基 準
A （ 達 成 ）	十分成果が上がっている（計画どおりに進んでいる）
B （おおむね達成）	成果が上がっている（おおむね計画どおりに進んでいる）
C （一部未達成）	成果が十分でなく改善の余地がある（一部計画どおりに進んでいない）

3 知見の活用

点検及び評価は、その客観性を確保するため、呉市教育委員会において執行した事務事業の状況等について、次の3名の学識経験者の方から意見聴取を行いました。

・意見聴取日 平成29年7月4日（火）

氏 名	役 職 等
あさくら あつし 朝倉 淳	広島大学大学院教育学研究科教授
よしだ しんや 吉田 真也	呉市PTA連合会副会長
ふるえ ゆきえ 古江 由紀枝	呉市民生委員児童委員協議会会長 呉市社会教育委員

II 呉市教育委員会の概要

1 教育委員会委員

(平成29年4月1日現在)

職名	氏名	任期	備考
教 育 長	なかむらこういち 中村弘市	H28. 4. 1~H30. 3. 31	
教育長職務代理者	もりおけいすけ 森尾敬介	H28. 3. 27~H32. 3. 26	会社役員
委 員	みずのよしゆき 水野良行	H25. 9. 26~H29. 9. 25	歯科医師
委 員	ふなおしん ふな尾慎	H29. 4. 1~H33. 3. 31	保護者代表
委 員	かがわはるこ 香川治子	H27. 4. 1~H31. 3. 31	医 師

2 教育委員会会議

「呉市教育委員会会議規則（平成5年呉市教育委員会規則第9号）」において、定例会を毎月1回、必要がある場合には臨時会を開催することを定めています。

平成28年度においては、定例会を12回、臨時会を3回、それぞれ開催しました。

(1) 平成28年度議決事項（※：市長へ意見申出）

提案年月日	番号	件名
平成28年 4月22日	19	呉市教育委員会傍聴規則の一部を改正する規則の制定について 「教育委員会事務点検・評価（平成27年度事務事業対象）」の実施について
	20	
平成28年 6月22日	21	学校教育法等の一部を改正する法律の施行等に伴う関係規則の整備に関する規則の制定について 呉市立小学校及び中学校通学区審議会委員の委嘱及び任命について 呉市立図書館協議会委員の委嘱及び任命について
	22	
	23	
平成28年 7月19日	24	片山中学校の敷地面積の変更について 呉市社会教育委員の委嘱について 平成29年度使用教科用図書の採択について（呉高等学校用） 平成29年度使用教科用図書の採択について（小中学校特別支援学級用）
	25	
	26	
	27	
平成28年 7月29日	28	「教育委員会事務点検・評価（平成27年度事務事業対象）」に係る意見交換について
平成28年 8月23日	29	請願書について 平成29年度教職員人事異動に係る呉市教育委員会の方針について 「教育委員会事務点検・評価報告書（平成27年度事務事業対象）」について
	30	
	31	

平成28年 9月16日	32 33	請願書に対する回答の一部訂正について 請願書について
平成28年11月24日	34	臨時代理の承認について（平成28年度教育費補正予算）※
平成28年12月16日	35	臨時代理の承認について（平成29年度教育費予算）※
平成29年 1月18日	1 2 3 4	請願書について（「請願に対する回答書」への公開質問状（その2）） 請願書について（自衛隊の広報活動（体験学習，出張授業）） 呉市立学校教職員服務規程の一部を改正する訓令の制定について 平成29年度教育費予算復活要求について※
平成29年 2月20日	5 6 7 8 9	平成29年度「呉の学校教育」について 呉市立呉高等学校教職員の人事評価に関する訓令の制定について 臨時代理の承認について（呉市職員定数条例の一部改正）※ 呉市情報公開審査会への諮問（社会科歴史的分野）について 呉市情報公開審査会への諮問（社会科公民的分野）について
平成29年 3月 6日	10	教職員人事について
平成29年 3月21日	11 12	臨時代理の承認について（契約の締結について（東畑中学校校舎建築工事））※ 職員人事について

(2) 平成28年度報告事項

報告年月日	番号	件 名
平成28年 4月22日	12	平成29年度使用教科用図書（呉市立呉高等学校）の採択手続について
	13	平成29年度使用教科用図書（小・中学校特別支援学級用）の採択手続について
	14	呉市重要文化財の指定について
	15	寄附受納について
平成28年 5月12日	16	請願書について
	17	呉市教科用図書採択関係資料の誤記等に関する状況と改善策について
平成28年 5月17日	18	平成28年度学校別児童・生徒数等について
	19	呉市立呉高等学校で使用する教科用図書の採択基本方針及び呉市立呉高等学校教科用図書採択手続要領の改定について
	20	呉市立小・中学校の特別支援学級で使用する教科用図書の採択基本方針の改定について
	21	日本遺産の認定について
平成28年 6月22日	22	「呉市立呉高等学校教科用図書採択手続要領」及び「教科用図書採択の手順【呉高等学校】」の改定について
	23	平成27年度「生徒指導上の諸問題」の状況について
	24	平成27年度「学校安全」の状況について
	25	公共工事（教育部）の発注について
	26	平成29年度呉市立呉高等学校入学選抜について
平成28年 7月19日	27	契約の変更について（吉浦小学校校舎建設工事）
	28	呉市子供読書活動推進計画（第3次計画）（案）について
平成28年 8月23日	29	寄附受納について

平成28年 9月16日	30 31	建築基準法第48条の特例許可について 中央図書館の施設改修に伴う臨時休館について
平成28年11月24日	32 33	平成27年度定期監査の結果改善又は検討を要望する事項の措置について 住民訴訟の応訴について
平成28年12月16日	34 35 36 37	平成28年度教育費補正予算について 呉市立呉高等学校の平成29年度入学者選抜実施要項について 呉市重要文化財の指定について 中央図書館のリニューアルオープンについて
平成29年 1月18日	1 2	呉市子供読書活動推進計画(第3次計画)(案)について 平成29年度教育費予算について
平成29年 2月20日	3 4	平成29年度教育費予算復活要求について 平成28年4月に学校統合した小学校の学校統合後のアンケートの集計結果について

3 研修会等への参加状況

(1) 会議・研修会

時 期	名 称	概 要
平成28年 5月	広島県市町教育委員会連合会 総会 (広島市で開催)	教育長職務代理者(以下「代理者」という。)が県連会長として出席※当連合会は、県内市町の教育委員会(14市9町)で構成され、代理者は平成18年度から県連会長に就任(呉市教育委員会が事務局を担当)
平成28年 7月	広島県女性教育委員グループ 総会及び第1回研修会 (広島市で開催)	委員1名が総会及び第1回研修会に出席 ※当グループは、県内の女性教育委員により構成
平成28年10月	広島県市町教育委員会連合会 教育委員研修会 (広島市で開催)	委員3名が出席 ※県内市町教育委員の研修会として年1回開催
	広島県女性教育委員グループ 第2回研修会 (庄原市で開催)	委員1名が出席
平成28年11月	市町村教育委員会研究協議会 (高知市で開催)	委員1名が出席
平成29年 2月	広島県女性教育委員グループ 第3回研修会 (広島市で開催)	委員1名が出席

(2) 行事等

時 期	概 要
平成28年 4月	呉市立呉高等学校入学式に出席
	呉市立小・中・高等学校合同校長会に出席
平成29年 1月	教育委員会仕事始めの式に出席
平成29年 3月	呉市立小・中・高等学校卒業式に出席

(3) 学校訪問・公開研究会等

時 期	名 称	概 要
平成28年10月 ～11月	小中一貫教育研究会 (仁方, 天応, 昭和北, 川尻, 音戸, 蒲刈中学校区で開催)	小中一貫教育について実践的な研究を行う 学校において, 研究発表や授業参観(公開 研究会)を実施
平成28年11月	広島県関係各種研究大会	中学校道徳研究大会

(4) その他

時 期	名 称	概 要
平成28年 5月 平成28年 8月	呉市民生委員推薦会	委員から1名が委嘱 ※事務局は福祉保健部福祉保健課, 任期3年
平成28年 6月 平成28年10月	呉市青少年問題協議会	委員から1名が委嘱 ※事務局は文化スポーツ部文化振興課, 任期2年
平成29年 1月	呉市環境審議会	委員から1名が委嘱 ※事務局は環境部環境政策課, 任期1年

Ⅲ 点検及び評価の結果

1 平成28年度対象課題と評価結果

	課名	対象課題	評価
1	教育総務課	・遠距離等通学児童生徒に対する支援	B
2	学校施設課	・普通教室への空調設備の設置	A
		・学校施設の耐震化	A
		・中学校給食の実施	B
3	学校教育課	・小中一貫教育の推進	A
		・文化・芸術体験活動の推進	A
		・教職員の資質の向上	A
4	学校安全課	・特別支援教育の推進	B
		・生徒指導の充実	B
		・安全対策の推進	A
5	文化振興課	・青少年健全育成事業の推進	A
		・文化財の活用と管理	A
6	中央図書館	・図書館サービスの向上	B
		・図書館の適正な管理運営	A

※全14課題

※評価欄「A」＝達成、「B」＝おおむね達成、「C」＝一部未達成

2 「第4次呉市長期総合計画」における対象課題の位置付け

注1) 後期基本計画【平成28年3月改定版】から教育委員会関係分を抜粋

注2) 平成28年度点検・評価シートの「対象課題の位置付け」欄参照

(1) 重点プロジェクト

重点戦略	重点プロジェクト	今後5年間で重点的に取り組む事業	
1 人づくり	(1) 未来を担う人材の育成	ア 心豊かでたくましい「呉の子ども」を育てる 教育の推進	(ア) 特色ある呉の教育の推進 (イ) 小中一貫教育の推進 (ウ) 大学と連携したアスリートの育成 (エ) 小中学校施設の建替 (オ) 小中学校普通教室への空調設備の設置
		イ 高等学校教育の充実	(ア) 呉高等学校施設の耐震化 (イ) 呉高等学校選択教室への空調設備の設置
2 都市づくり	(1) 高次都市機能の強化・充実	ア 拠点となる公共施設の整備	(ア) 拠点スポーツ施設の整備

(2) 基本政策

まちづくり分野	基本政策	基本施策	今後5年間で取り組む代表的な施策
1 教育分野	(1) 学校教育	ア 義務教育の充実	(ア) 教育内容の充実 (イ) 特別支援教育の推進 (ウ) いじめ・不登校や問題行動等への取組 (エ) 安全・安心な環境づくり (オ) 教育環境の整備 (カ) 地域に開かれた特色ある学校づくり (キ) 企業・高等教育機関等との連携
		イ 高等学校教育の充実	(ア) 学力の向上による進路実現 (イ) 地域・社会に貢献する人材の育成 (ウ) 教育環境の整備 (エ) 高等学校教育の振興
	(2) 社会教育	ア 家庭教育・青少年教育の充実	(ア) 保護者の教育力の向上 (イ) 地域の教育力の活用 (ウ) 青少年育成活動の推進
		イ 生涯学習の推進	(ア) 推進体制の整備 (イ) 地域に根ざした生涯学習活動の推進
	(3) 文化・スポーツ	ア 文化の振興	(ア) 質の高い文化に触れる機会の拡充 (イ) 市民文化活動の振興 (ウ) 文化財の保護・保存・活用の推進 (エ) 歴史資料の整理・研究の推進
		イ スポーツの振興	(ア) 本物のスポーツ体験及び競技力の向上 (イ) 生涯スポーツの普及・促進 (ウ) スポーツ施設の整備

平成29年度点検・評価シート

		担当課	教育総務課		
点検項目	遠距離等通学児童生徒に対する支援	点検項目の位置付け	Ⅱ 基本政策(学校教育) 基本施策(義務教育の充実)		
目的 (何のためにこの事業を行っているのか、どのような状態になることを意図しているのか など)					
遠距離通学費の助成やスクールバスの運行等により、児童生徒の安全な通学手段を確保するため。					
【参考】前回評価結果 (今後の取組・方向性)					
<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の安全な通学手段を確保するため、引き続き本事業を実施する。 JR定期代の支払い方法のうち、前期現物支給について引き続きJRと協議を行う。 市所有のスクールバスから並行運行している路線バス・生活バスへの移行について関係課と協議を行う。 					
成果目標	・対象児童生徒の安全な通学手段の確保				
平成28年度 事業(取組)実績	1 支援対象者・支援内容 (1) 支援対象者 遠距離や通学上に危険要因がある児童生徒の保護者 (2) 支援内容 公共交通機関を利用して通学する場合の通学費(定期代)を全額補助 公共交通機関に適切な便がない場合などにスクールバス・タクシーを運行 2 支援実績 (1) 遠距離通学費補助金交付実績 小学校 1,160人 中学校 813人 (2) スクールバス・タクシー、臨時便の運行実績 スクールバス 12便(内、臨時便5便含む) スクールタクシー 7便(内、臨時便3便含む) (3) その他 6月の大雨災害時の代行便(豊小、豊浜中、安浦中)				
事業費		年度	平成27年度(決算額)	平成28年度(決算額)	平成29年度(予算額)
		事業費合計	121,357 千円	126,534 千円	131,305 千円
	財源内訳	国庫支出金	7,588 千円	7,472 千円	10,118 千円
		県支出金	1,517 千円	1,494 千円	2,023 千円
		地方債	3,700 千円	3,500 千円	3,700 千円
		その他		千円	千円
	一般財源	108,552 千円	114,068 千円	115,464 千円	
達成事項(成果)	・対象児童生徒の安全な通学に寄与				

課題
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の経済的負担の軽減を図るため、呉市が定期代金を直接業者に支払っているが、JRのみ前期分（4～9月分）の定期券については、保護者の立替払が発生する点 ・市所有のスクールバスが登録から10年を超え、経年劣化が進んでいるため、故障等により長期間使用できなくなる懸念がある点
課題解決の取組
<ul style="list-style-type: none"> ・JR定期券については、定期購入時期と呉市の公費支出の時間差が発生することを前提に実施可能な方法についてJRの理解を得るべく平成28年度は協議を行った。JR定期券前期分（4月～9月）については、本年6月にJRから、料金引替が原則のため、現物支給はできないとの回答があった。 ・路線バスや生活バスが運行している路線については、スクールバスからの転換を検討する。

学識経験者の意見		
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の要望に対し、よく対応していると思われるが、もっと丁寧に市民へのPRをしてほしい。 ・市所有のスクールバスについて、経年劣化による故障が心配である。ランニングコストの側面（費用対効果）を考えながら、将来的には定期的な更新も必要ではないか。 		
評 価	評価結果	今後の取組・方向性（次年度以降にどうつなげていくのか など）
	B	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の安全な通学手段を確保するため今後とも事業を実施していきます。 ・市所有のスクールバスから並行運行している路線バス・生活バスへの転換について関係課と協議を行っていきます。

平成29年度点検・評価シート

		担当課	学校施設課		
点検項目	普通教室への空調設備の設置	点検項目の位置付け	Ⅱ 基本政策 (教育環境の整備)		
目的 (何のためにこの事業を行っているのか, どのような状態になることを意図しているのか など)					
児童生徒の主な学習・生活の場である普通教室を, 生理的・心理的に負担をかけない最も学習に望ましい室温 (夏場: 25℃~28℃) に保つことにより, 快適な学習環境を確保するため。					
【参考】前回評価結果 (今後の取組・方向性)					
<ul style="list-style-type: none"> 空調設備機器の調達及び設置を備品購入とすることで, 事業費の削減を図る。 合併特例債及び過疎債を活用することで市負担の軽減を図るとともに, 計画に沿った事業を推進する。 					
成果目標	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度末までに, 呉市立小中学校の全普通教室に空調設備を設置する。 (小学校36校, 中学校26校) 				
平成28年度 事業 (取組) 実績	<ol style="list-style-type: none"> 発注方法の決定 <ol style="list-style-type: none"> 電気設備工事 受変電設備の改造・新設, 分電盤の新設等 備品購入 空調機器の購入及び設置 中学校の空調設備設置に先立つ電気設備工事設計の実施 中学校の空調種別の決定 職員室・校長室等の既存空調方式の採用 (電気式: 23校, ガス式: 2校) 				
事業費	年度	平成27年度(決算額)	平成28年度(決算額)	平成29年度(予算額)	
	事業費合計	0 千円	27,655 千円	519,000 千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	0 千円	0 千円
		県支出金	千円	0 千円	0 千円
		地方債	千円	25,400 千円	496,800 千円
		その他	千円	0 千円	0 千円
一般財源	千円	2,255 千円	22,200 千円		
達成事項 (成果)	<ul style="list-style-type: none"> 空調設備の発注方法 (工事と備品購入) の決定 中学校の空調種別の決定 電気設備工事実施設計 				

課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 工事施工業者及び備品納入業者の確保 ・ 空調設置に伴う学校運営への支障
課題解決の取組
<ul style="list-style-type: none"> ・ 発注時期の分散化による、工事施工業者及び備品納入業者の確保 ・ 綿密な工程管理による、学校運営への支障の最小化

学識経験者の意見		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 空調設置工事の際は、事故のないよう児童生徒の安全確保をお願いしたい。 ・ 平成29年度は中学校、平成30年度は小学校に空調設備を一斉導入する予定とのことだが、故障する時期もほぼ同じ時期になると思われるので、将来的な買換えの予算化もお願いしたい。 		
評 価	評価結果	今後の取組・方向性（次年度以降にどうつなげていくのか など）
	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空調設備を設置する普通教室は、普段使用していることから、学校運営の支障が最小限となるよう、学校と協議しながら綿密な工程管理を実施します。

平成29年度点検・評価シート

		担当課	学校施設課
点検項目	学校施設の耐震化	点検項目の位置付け	I 重点プロジェクト (学校施設の耐震化)
目的 (何のためにこの事業を行っているのか、どのような状態になることを意図しているのか など)			
<p>児童生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、災害時には地域住民の応急避難場所ともなる学校施設の耐震化を進め、その安全性を確保するため。</p>			
【参考】 前回評価結果 (今後の取組・方向性)			
<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度予算を繰り越して実施した耐震補強工事の竣工により、耐震補強可能なものは完了 耐震化は喫緊の課題であり、建替え工事が必要なものについて早期の完了を目指す。 			

成果目標	<ul style="list-style-type: none"> 平成31年度末までの耐震化完了を目指す。 																						
平成28年度 事業 (取組) 実績	1 改築工事, 耐震補強工事に先立つ工事設計及び改築工事, 耐震補強工事を実施																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>改築, 耐震補強工事設計</td> <td>21校32棟</td> <td>2校2棟</td> <td>2校3棟</td> </tr> <tr> <td>改築工事</td> <td>1校1棟</td> <td>1校1棟</td> <td>1校1棟</td> </tr> <tr> <td>耐震補強工事</td> <td>15校16棟</td> <td>24校35棟</td> <td>2校4棟</td> </tr> <tr> <td>耐震化率 (年度末)</td> <td>77.7%</td> <td>92.4%</td> <td>94.5%</td> </tr> </tbody> </table>				項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	改築, 耐震補強工事設計	21校32棟	2校2棟	2校3棟	改築工事	1校1棟	1校1棟	1校1棟	耐震補強工事	15校16棟	24校35棟	2校4棟	耐震化率 (年度末)	77.7%	92.4%
項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度																				
改築, 耐震補強工事設計	21校32棟	2校2棟	2校3棟																				
改築工事	1校1棟	1校1棟	1校1棟																				
耐震補強工事	15校16棟	24校35棟	2校4棟																				
耐震化率 (年度末)	77.7%	92.4%	94.5%																				
事業費	2 発注業務 (建築・電気・給排水) の一体化や, 複数校の工事をまとめることによる発注事業数の調整																						
	3 工事関連事務の軽減を図るために工事監理業務を委託 (耐震補強工事)																						
	年度	平成27年度 (決算額)	平成28年度 (決算額)	平成29年度 (予算額)																			
	事業費合計	1,472,084 千円	374,469 千円	1,162,235 千円																			
	財源内訳	国庫支出金	671,120 千円	142,488 千円	170,714 千円																		
		県支出金																					
地方債		731,300 千円	221,000 千円	871,600 千円																			
その他																							
一般財源	69,664 千円	10,981 千円	119,921 千円																				
達成事項 (成果)	<ul style="list-style-type: none"> 耐震補強可能なものは完了 耐震化率の向上 (平成27年度末 92.4% ⇒ 平成28年度末 94.5% 前年度比 2.1ポイントの増) 																						

<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度当初，国に建替え工事の補助申請を行っても事業が不採択となり，後の補正申請で事業が採択されるなど，国の財政状況が厳しいこと。 ・改築工事期間中の教室確保
<p>課題解決の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業採択され次第着手できるよう，実施設計を前倒して実施 ・既存校舎の有効活用及び仮設校舎の建設を検討

<p>学識経験者の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業は学校にとって非常に大切な問題であり，強方に推進してほしい。 ・小中学校は災害時に避難所となることがあり，学校施設が安全になることを地域も喜んでいる。 ・工事により，授業に支障を来すこともあると思われるが，保護者や子供達には安全を確保するために必要な工事であることをしっかりと説明してほしい。
--

	評価結果	今後の取組・方向性（次年度以降にどうつなげていくのか など）
<p>評価</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業採択に向け国費の要望を継続するとともに，実施設計の前倒しに取り組みます。 ・学校と綿密な協議を行い，工事期間中の教室確保に努めます。

平成29年度点検・評価シート

		担当課	学校施設課			
点検項目	中学校給食の実施	点検項目の位置付け	I 重点プロジェクト (中学校給食の実施)			
目的 (何のためにこの事業を行っているのか、どのような状態になることを意図しているのか など)						
<p>栄養バランスに配慮した中学校給食を提供することにより、成長期の生徒の健康の保持・増進及び心身の健全な発達に寄与するとともに、呉市内における中学校給食実施に係る不均衡を解消するため。</p>						
【参考】 前回評価結果 (今後の取組・方向性)						
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒及び保護者、教職員にアンケートを実施し、より良い給食の在り方を検討 ・喫食率の更なる向上に向け、試食会の実施などにより、学校給食への理解と周知を図る。 						
成果目標	・デリバリー給食喫食率の向上					
平成28年度 事業 (取組) 実績	<ol style="list-style-type: none"> 1 デリバリー給食の円滑な実施と安定運営 <ol style="list-style-type: none"> (1) 栄養バランスを考慮した献立の作成 (2) 献立会議の実施 (3) 受託業者への立入検査 (年2回) 2 試食会の実施 <ul style="list-style-type: none"> 東部地区：3回 中央部地区：2回 3 デリバリー給食の周知 <ul style="list-style-type: none"> 中学校入学説明会での周知 (16校) 					
事業費		年度	平成27年度(決算額)	平成28年度(決算額)	平成29年度(予算額)	
		事業費合計	92,226 千円	79,751 千円	89,708 千円	
	財源内訳	国庫支出金		千円	千円	千円
		県支出金		千円	千円	千円
		地方債		千円	千円	千円
		その他		千円	千円	千円
	一般財源	92,226 千円	79,751 千円	89,708 千円		
達成事項 (成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度平均喫食率 43.0% ・喫食状況報告に基づき、生徒の好む献立を一部採用 					

課題
・デリバリー給食の喫食率が当初に比べ低下傾向であること（平成27年度（H27.9～H28.3）44.9％）。
課題解決の取組
・小学校段階及び中学校入学説明会での生徒や保護者への周知 ・生徒・保護者の周知に向けた市PTA連合会との連携 ・保護者等を対象とした試食会の実施

学識経験者の意見		
<p>・良い制度だと思われるが、喫食率が下がった理由や背景について、検証が必要と思われる。</p> <p>・試食の経験があり、美味しいと感じた。試食会の回数を増やすことも、喫食率の向上に結び付くのではないかと。</p>		
評 価	評価結果	今後の取組・方向性（次年度以降にどうつなげていくのか など）
	B	<ul style="list-style-type: none"> ・デリバリー給食の周知・説明に合わせて、学校給食への理解を深めるよう努めます。 ・委託契約の満了に伴い、円滑な契約更新を図ります。

平成29年度点検・評価シート

		担当課	学校教育課																														
点検項目	小中一貫教育の推進	点検項目の位置付け	I 重点プロジェクト (小中一貫教育の推進)																														
目的 (何のためにこの事業を行っているのか、どのような状態になることを意図しているのか など)																																	
子どもたちに、義務教育9年間を修了するにふさわしい学力と社会性を育成するため。																																	
【参考】前回評価結果 (今後の取組・方向性)																																	
<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒に主体的な学びを促すために、「課題発見・解決学習」の質を高め、学力向上を目指す取組となるよう教職員を指導する。 ・各中学校区で設定した資質・能力を育成するために各教科の基本的な考え方を示した呉版年間指導計画を作成する。 ・各中学校区で作成するカリキュラムに基づき実践・検証した改善カリキュラム集を作成・配付し、研修会等で交流する場を設ける。 ・モデル校以外の学校がモデル校の研究の成果を取り入れ、実態に合った指導方法を工夫するよう指導する。 																																	
成果目標	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校区で設定した「資質・能力」の育成に向けた「呉版年間指導計画」の作成：全中学校区 ・児童生徒の自尊感情の向上：児童生徒質問紙の肯定的回答が前年度より1pt以上向上 ・英語が話せる子どもの育成事業モデル校研究会の参加者の満足度：95%以上 ・児童生徒の学力・体力の向上：学力調査県平均より2pt以上、体力・運動能力調査の合計点が県平均以上 																																
平成28年度事業 (取組) 実績	<p>1 小中一貫教育推進コーディネーターを対象にした研修会の実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施回数</th> <th>参加者</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2回</td> <td>各校1名 (計62名)</td> <td>「中学校区が目指す資質・能力」の設定に向けた研修の視点と方法 各中学校区で「資質・能力」を具現化するための取組に係る研修</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 小中一貫教育研究指定校 (13中学校区)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究公開の実施 (6中学校区) <p>3 英語が話せる子どもの育成事業モデル校による研究成果の普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル校3小学校に市費非常勤講師3名配置 ・小学校段階からの英語教育についての研究実践 ・研究公開の実施 (2小学校) ・各モデル校において、7月～2月に市内の中学校英語科教諭 (各1名)、小学校教諭 (各1名) を対象とした授業公開を実施し、研究成果の普及に取り組んだ。 <p>4 改善カリキュラム (実践事例集) の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに各中学校区が作成したカリキュラムを実践・検証するための視点と実践例を掲載 				実施回数	参加者	内容	2回	各校1名 (計62名)	「中学校区が目指す資質・能力」の設定に向けた研修の視点と方法 各中学校区で「資質・能力」を具現化するための取組に係る研修																							
実施回数	参加者	内容																															
2回	各校1名 (計62名)	「中学校区が目指す資質・能力」の設定に向けた研修の視点と方法 各中学校区で「資質・能力」を具現化するための取組に係る研修																															
事業費	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>平成27年度 (決算額)</th> <th>平成28年度 (決算額)</th> <th>平成29年度 (予算額)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費合計</td> <td>31,695 千円</td> <td>32,139 千円</td> <td>32,612 千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">財源内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td>13,206 千円</td> <td>14,855 千円</td> <td>12,000 千円</td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td>400 千円</td> <td>405 千円</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td>千円</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>126 千円</td> <td>88 千円</td> <td>100 千円</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>17,963 千円</td> <td>16,791 千円</td> <td>20,512 千円</td> </tr> </tbody> </table>				年度	平成27年度 (決算額)	平成28年度 (決算額)	平成29年度 (予算額)	事業費合計	31,695 千円	32,139 千円	32,612 千円	財源内訳	国庫支出金	13,206 千円	14,855 千円	12,000 千円	県支出金	400 千円	405 千円	千円	地方債	千円	千円	千円	その他	126 千円	88 千円	100 千円	一般財源	17,963 千円	16,791 千円	20,512 千円
年度	平成27年度 (決算額)	平成28年度 (決算額)	平成29年度 (予算額)																														
事業費合計	31,695 千円	32,139 千円	32,612 千円																														
財源内訳	国庫支出金	13,206 千円	14,855 千円	12,000 千円																													
	県支出金	400 千円	405 千円	千円																													
	地方債	千円	千円	千円																													
	その他	126 千円	88 千円	100 千円																													
	一般財源	17,963 千円	16,791 千円	20,512 千円																													
達成事項 (成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校区ごとに「資質・能力」を設定し、目指す姿を明らかにした。 ※全中学校区が設定した「資質・能力」に基づき、教科等の年間指導計画の見直しを行った。 ・児童生徒の自尊感情の向上 ※学力調査の質問紙調査「自分には良いところがあります」という問いに肯定的回答をした割合が前年度に比べ、中2は1.4pt、小5は1.3pt向上 ・モデル校3校が小学校段階からの英語教育について研究実践を進め、授業公開を実施し、全小中学校から教員が参加した。授業公開後のアンケートで「参考になった。」「自校の取組に生かしたい。」との回答が100%であった。 ・児童生徒の学力・体力の向上 ※国、県の学力調査において、小中学校ともに全ての教科で平均を2pt以上上回った。 ※県の学力調査において、「課題発見・解決学習」に係る設問については、小学生は県平均を全ての設問で上回り、中学生は約半数の設問で上回った。 ※体力・運動能力調査 (小5・中2対象) において、小5男女、中2男女ともに、合計点が県平均を上回った。 																																

課題
<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育の成果指標として「学力の向上」を設け、その実現のために正答率30%未満の基礎学力が十分定着していない児童生徒への指導を徹底する必要がある。 ・中学校区での「資質・能力」の育成に向けて、教育課程全体を見通し、いつ、どのような場面で意図的・計画的に教育活動を推進していくのかを考える必要がある。 ・「課題発見・解決学習」に係る設問に対する肯定的な回答の割合の向上を目指した教育活動の充実が必要である。
課題解決の取組
<ul style="list-style-type: none"> ・正答率30%未満の基礎学力が十分定着していない児童生徒への継続的な指導と分かる授業づくりを目指した授業改善 ・学力調査等の綿密な課題分析の基、「学力の向上」に係る小中一貫教育の成果指標の設定について検討 ・中学校区で設定した「資質・能力」の育成が図れるよう、総合的な学習の時間や各教科の授業のつながりを整理したカリキュラムマップの作成・活用 ・呉市「学びの変革」推進研修会（年2回）を通じた教職員の研修の充実

学識経験者の意見
<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育で何を行っているか分からない保護者が多いので、保護者への丁寧な説明をお願いしたい。 ・呉市の小中一貫教育には、一体型と分離型があるが、分離型は一体型と比較して連携の時間が短いので、分離型でもできる限り連携を密にしてほしい。

	評価結果	今後の取組・方向性（次年度以降にどうつなげていくのか など）
評価	A	<ul style="list-style-type: none"> ・正答率30%未満の児童生徒の理解を促すために、個別指導の充実と分かる授業づくりを行います。 ・各中学校区で設定した「資質・能力」の育成に向けて、教育課程の、いつの時期に、どの単元で学習するかを見渡せる「カリキュラムマップ」の作成を行います。また、全中学校区のカリキュラムマップを「小中一貫教育事例集」としてまとめ、市内全ての学校に配付することで、普及を図ります。 ・英語が話せる子どもの育成事業モデル校だけでなく、外部専門機関と連携した英語指導力向上事業に係る研修協力校の研究会の研究の成果を取り入れ、実態に合った指導方法を工夫できるよう指導していきます。

平成29年度点検・評価シート

		担当課	学校教育課
点検項目	文化・芸術体験活動の推進	点検項目の位置付け	I 重点プロジェクト (文化・芸術体験活動の推進)
目的 (何のためにこの事業を行っているのか、どのような状態になることを意図しているのか など)			
未来を担う子どもたちが、郷土の歴史や文化・芸術に触れることにより、豊かな感性と郷土を愛する心を育てるため。			
【参考】前回評価結果 (今後の取組・方向性)			
事前指導や事後指導を充実させ、年間の見通しの中で教科等の計画に位置付けて実施する。			

成果目標	<ul style="list-style-type: none"> 年間指導計画と関連付けた実施を意識し、事前・事後の指導を充実：全小学校 美術や歴史に対する興味・関心の向上：児童事後アンケートの肯定的回答85%以上 文化や歴史に対する興味・関心の向上：児童事後アンケートの肯定的回答85%以上 郷土を愛する児童生徒の育成：児童事後アンケートの肯定的回答90%以上 				
平成28年度 事業 (取組) 実績	1 和洋音楽ふれあい事業				
	小学校	オーケストラ鑑賞教室 (小5)	広島交響楽団による演奏の鑑賞 (全36校が参加)		
		洋楽鑑賞会	ピアノ、バイオリン等の鑑賞 (小22校で実施)		
	中学校	呉市立中学校夏の演奏会	吹奏楽部等による演奏会 (中21校が参加)		
		中学校吹奏楽クリニック	海上自衛隊呉音楽隊による吹奏楽部の指導 (中17校が参加)		
	小中学校	邦楽鑑賞会	琴、三味線、尺八等の鑑賞 (小20校、中9校で実施)		
		連合音楽会	各校による合唱曲の披露及び鑑賞 (小18校、中26校が参加)		
	2 美術作品ふれあい事業				
	小4	美術鑑賞 (呉市立美術館)	美術作品の鑑賞 (全36校が参加)		
	小6	美術鑑賞 (蘭島閣美術館等)	美術作品の鑑賞 (全36校が参加)		
	3 ふるさと文化探訪事業				
	小4	入船山記念館	入船山記念館の見学 (全36校が参加)		
小5	大和ミュージアム	大和ミュージアム館内の見学 (全36校が参加)			
小6	御手洗町並み保存地区	御手洗町並み保存地区の見学 (全36校が参加)			
事業費	年度	平成27年度 (決算額)	平成28年度 (決算額)	平成29年度 (予算額)	
	事業費合計	12,564 千円	11,615 千円	12,249 千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		地方債	3,000 千円	3,200 千円	3,400 千円
		その他	千円	千円	千円
一般財源	9,564 千円	8,415 千円	8,849 千円		
達成事項 (成果)	<ul style="list-style-type: none"> 蘭島閣美術館見学の実施前後に、図画工作科や社会科の歴史学習、総合的な学習の時間との関連を図ることで、学習の深まりや広がりへとつながった。 児童の美術・歴史に対する興味・関心が向上し、郷土を愛する心が育まれた。 ※呉市立美術館を見学した児童 (小4) アンケート結果：「美術作品 (絵や彫刻など) に興味がある」と回答した児童が事前78.6%が事後88.3%に増加した。 ※大和ミュージアムを見学した児童 (小5) アンケート結果：「呉市の文化や歴史のことをもっと知りたいと思う」と回答した児童が事前81.1%が事後90.9%に増加した。 ※御手洗町並み保存地区を見学した児童 (小6) アンケート結果：「自分の住んでいる地域が好き」と回答した児童が事前90.3%が事後93.9%に増加した。 				

課題
・各体験事業を教科指導と関連させて実施することはできたが、さらに教育効果を高めるために、年間指導計画等に位置付け（「呉の歴史絵本」等）、計画的・系統的に実施していく必要がある。
課題解決の取組
・学校訪問や教科部会等において、各事業に係る内容を教科等の年間指導計画等に位置付けるよう、指導助言を行っていく。

学識経験者の意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・文化・芸術体験活動は、そのイベントだけでなく、その前後でストーリーになることで効果につながる。 ・今まで興味がなくても、本物を体験することによって興味を持つ事例はたくさんあると思われるので、今後も継続して実施してほしい。 ・児童生徒と高校生との交流があれば、文化活動のレベルアップにつながると思われる。 	
評価	評価結果
	<p style="text-align: center;">A</p> <p>今後の取組・方向性（次年度以降にどうつなげていくのか など）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問や教科部会等において、各事業に係る内容や効果を啓発したり、教科等の年間指導計画等に位置付けたりするよう、指導助言を行っていきます。

平成29年度点検・評価シート

		担当課	学校教育課																														
点検項目	教職員の資質の向上	点検項目の位置付け	Ⅱ 基本政策 (教育内容の充実)																														
目的 (何のためにこの事業を行っているのか、どのような状態になることを意図しているのか など)																																	
子どもたちに義務教育9年間を修了するにふさわしい学力と社会性を育成するための教育環境の整備として、教職員の資質の向上を図るため																																	
【参考】前回評価結果 (今後の取組・方向性)																																	
<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の人間性や感性を磨く研修会については、今後も引き続き内容を充実させる。 ・中核市としての研修の成果と課題を踏まえ、県と連携しながら充実を図る。 ・「広島版『学びの改革』アクション・プラン」に係る研修の機会を積極的に設け各校の取組の充実を図る。 ・小中一貫教育を基盤とした教育活動に「主体的な学び」を位置付け、呉市の特色ある研修の充実を図る。 																																	
成果目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「資質・能力」の育成や主体的な学びを促す教育活動に関する研修機会の設定：7回 ・主体的な学びを促す教育活動による児童生徒の意識の変容：児童生徒アンケートの肯定的回答80%以上(小)、65%以上(中) ・教職員の人間性や感性を磨く研修会の満足度：事後アンケートの肯定的回答90%以上 																																
平成28年度 事業(取組)実績	<p>1 教職員の資質の向上に向け、広島県教育委員会の主催研修との関連を図りながら、次のような研修を行った。研修では、中学校区で育成すべき「資質・能力」の設定の方法、主体的な学びを促すための組織的な学校経営、「『課題発見・解決学習』の授業づくり」に関わる内容を取り入れて実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>呉市教育研究会</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>ブロック別学校経営研修会</td> <td>6回</td> <td>6回</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>小中一貫教育推進コーディネーター研修会</td> <td>3回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>呉市「学びの改革」推進協議会</td> <td></td> <td></td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>呉市教職員研究発表大会(出品数)</td> <td>62点</td> <td>60点</td> <td>61点</td> </tr> <tr> <td>「立志塾」</td> <td>3回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 校長会・教頭会を始め、「立志塾」などの自主的研修会においても、グローバル人材の育成や夢や志を抱かせる進路指導など、人間性・感性を磨く視点から、ふさわしい外部講師の招へいができた。</p> <p>3 中核市として、法定研修を中心に県教委と連携しながら、研修の在り方や研修計画を整備した。</p>				項 目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	呉市教育研究会	1回	1回	1回	ブロック別学校経営研修会	6回	6回	4回	小中一貫教育推進コーディネーター研修会	3回	2回	2回	呉市「学びの改革」推進協議会			4回	呉市教職員研究発表大会(出品数)	62点	60点	61点	「立志塾」	3回	2回	2回	
項 目	平成26年度	平成27年度	平成28年度																														
呉市教育研究会	1回	1回	1回																														
ブロック別学校経営研修会	6回	6回	4回																														
小中一貫教育推進コーディネーター研修会	3回	2回	2回																														
呉市「学びの改革」推進協議会			4回																														
呉市教職員研究発表大会(出品数)	62点	60点	61点																														
「立志塾」	3回	2回	2回																														
事業費	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>平成27年度(決算額)</th> <th>平成28年度(決算額)</th> <th>平成29年度(予算額)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費合計</td> <td>189 千円</td> <td>892 千円</td> <td>1,939 千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">財源内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td>千円</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td>千円</td> <td>千円</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td>千円</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td>千円</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>189 千円</td> <td>892 千円</td> <td>1,939 千円</td> </tr> </tbody> </table>				年度	平成27年度(決算額)	平成28年度(決算額)	平成29年度(予算額)	事業費合計	189 千円	892 千円	1,939 千円	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円	県支出金	千円	千円	千円	地方債	千円	千円	千円	その他	千円	千円	千円	一般財源	189 千円	892 千円	1,939 千円
年度	平成27年度(決算額)	平成28年度(決算額)	平成29年度(予算額)																														
事業費合計	189 千円	892 千円	1,939 千円																														
財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円																													
	県支出金	千円	千円	千円																													
	地方債	千円	千円	千円																													
	その他	千円	千円	千円																													
	一般財源	189 千円	892 千円	1,939 千円																													
達成事項(成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的な学びを促す教育活動に関する研修を設定し、教職員の専門性が向上(学力調査の児童生徒質問紙調査「授業では、解決しようとする課題に、なぜだろう、やってみたいと思う」という問いに肯定的回答をした割合が向上 小:H27 77.2%→H28 80.7% 中:H27 66.3%→H28 67.2%) ・大学教授等、専門分野で活躍する方を講師に迎えての研修会を開催し、専門的な内容理解を深めたり講師の人柄に触れたりすることで、教職員として人間性や感性を磨くことができたこと(小中一貫教育推進コーディネーター研修会「本研修会は参考になったか」という問いに肯定的回答をした割合93.6%、呉市教職員研究発表大会の講演会「講演会は今後の役に立つか」という問いに肯定的回答をした割合91.5%) 																																

課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校区で設定した「資質・能力」については、発達段階に沿って具体的な児童生徒の姿で示し、教育課程のいつ、どの場面で育成するか明確にする必要があること。 ・ 主体的な学びを促す教育活動については、パイロット校等の研究開発校だけでなく、全ての学校で一層取り組む必要があること。
課題解決の取組
<ul style="list-style-type: none"> ・ 資質・能力の育成（カリキュラムマップの作成）に焦点化した呉市「学びの変革」推進研修会を年2回実施することにより、市内全体に普及 ・ 研究発表大会を4中学校区で開催し、全校から教職員を参加させ、主体的な学びを促す教育活動についての研修を実施

学識経験者の意見					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 教員が自分の個性を生かして、元気に子供達と過ごすことが、一番資質の向上につながるのではないかと。 ・ 教員は夜遅くまで頑張っているのだから、体調面を含めたフォローをお願いしたい。 					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">評価結果</th> <th style="width: 90%;">今後の取組・方向性（次年度以降にどうつなげていくのか など）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員の人間性や感性を磨く研修会は、今後も引き続き充実させていきます。 ・ 資質・能力の育成に向けて、教育課程のいつ、どの場面で育成するかを明確に示すカリキュラムマップの作成を行います。また、その作成に向けて、呉市「学びの変革」推進研修会を年2回実施することにより、市内全体に普及します。 ・ 研究発表大会を4中学校区で開催し、主体的な学びを促す教育活動の研究成果を啓発します。 </td> </tr> </tbody> </table>	評価結果	今後の取組・方向性（次年度以降にどうつなげていくのか など）	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員の人間性や感性を磨く研修会は、今後も引き続き充実させていきます。 ・ 資質・能力の育成に向けて、教育課程のいつ、どの場面で育成するかを明確に示すカリキュラムマップの作成を行います。また、その作成に向けて、呉市「学びの変革」推進研修会を年2回実施することにより、市内全体に普及します。 ・ 研究発表大会を4中学校区で開催し、主体的な学びを促す教育活動の研究成果を啓発します。
評価結果	今後の取組・方向性（次年度以降にどうつなげていくのか など）				
A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員の人間性や感性を磨く研修会は、今後も引き続き充実させていきます。 ・ 資質・能力の育成に向けて、教育課程のいつ、どの場面で育成するかを明確に示すカリキュラムマップの作成を行います。また、その作成に向けて、呉市「学びの変革」推進研修会を年2回実施することにより、市内全体に普及します。 ・ 研究発表大会を4中学校区で開催し、主体的な学びを促す教育活動の研究成果を啓発します。 				

平成29年度点検・評価シート

		担当課	学校安全課
点検項目	特別支援教育の推進	点検項目の位置付け	Ⅱ 基本施策 (特別支援教育の推進)

目的 (何のためにこの事業を行っているのか、どのような状態になることを意図しているのか など)

個々の実態に応じて適切な指導及び必要な支援を行うため、一人一人の実態を把握し、その持てる力を高め、障害のある児童生徒の自立や社会参画につなげるため。

【参考】前回評価結果 (今後の取組・方向性)

- ・特別支援教育の専門家による研修会を通じた教職員の指導力向上及び特別支援教育推進のための環境・体制づくりに努める。
- ・呉市ホームページ等を活用した積極的な情報発信及び関係機関等と連携したより丁寧な就学指導の充実を図る。
- ・「呉市幼児教育振興計画」に基づく保幼小連携や関係機関等との連携を通じた特別支援教育の充実を図る。

成果目標

- ・特別支援教育の視点を踏まえた落ち着いた環境づくりの取組の徹底(実施率100%)
- ・丁寧な教育相談を通じた効果的な就学指導の実施(就学指導方針と異なる就学先を決定した児童生徒数の割合1割減)
- ・「呉市幼児教育振興計画」に基づく効果的な保幼小連携の実施

平成28年度
事業(取組)実績

1 特別支援学級支援員の配置

- ア 特別支援学級指導員:特別支援学級における児童生徒の指導の援助
- イ 学校教育指導補助員:通常の学級に在籍する発達障害のある児童生徒の指導の援助

	平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	人数	派遣校	人数	派遣校	人数	派遣校
特別支援学級指導員	51人	30校	51人	29校	51人	27校
学校教育指導補助員	52人	34校	52人	32校	52人	34校

2 教職員の指導力向上及び特別支援教育推進のための環境・体制づくり

(1) 専門家の巡回相談による校内研修の実施

平成26年度		平成27年度		平成28年度	
37校	85回	39校	96回	37校	67回

(2) 特別支援教育の専門家による研修会の実施

(3) 「呉市のスタンダード(「掲示」「ロッカー」「机・椅子」)」の取組を全ての小中学校で実施

3 就学指導の充実に向けた取組

(1) 就学相談を受けた就学前児童数(【 】内は就学指導方針と異なる就学先を決定した児童の割合)

平成26年度	平成27年度	平成28年度
81人【14%】	106人【11%】	59人【10%】

(2) 呉市ホームページや就学相談案内の配付等による積極的な周知・働き掛け

(3) 市内全保育所・幼稚園との連携を基にした丁寧な就学相談や就学指導の実施

4 保幼小連携の充実に向けた取組

(1) 「呉市保幼小連携に関する代表者会・作業部会」

ア 効果的な保幼小連携や小学校への接続に向けた取組の方向性や内容検討

イ 特別支援教育に係る保幼小合同研修会の実施に向けた企画・立案

事業費

年度	平成27年度(決算額)	平成28年度(決算額)	平成29年度(予算額)	
事業費合計	162,072 千円	158,712 千円	161,817 千円	
財源内訳	国庫支出金	51,548 千円	56,882 千円	55,000 千円
	県支出金			
	地方債			
	その他	696 千円	561 千円	571 千円
	一般財源	109,828 千円	101,269 千円	106,246 千円

達成事項(成果)

- ・教職員に対する専門的・実践的な研修を実施し、落ち着いた環境づくりのための「呉市のスタンダード」の取組を全市的に展開したこと(実施率100%)。
- ・保育所・幼稚園等との丁寧な事前連携や、教育相談後における継続的な就学指導により、就学指導方針と異なる就学先を決定した児童の割合が減少(11%→10%)したこと。

課題
<ul style="list-style-type: none"> ・通常学級に在籍する発達障害のある（と思われる）児童生徒への対応に苦慮しているケースがあること。 ・関係機関等との連携を基に、特別支援教育の充実や効果的な保幼小連携に向けた具体的な取組が実施できていないこと。
課題解決の取組
<ul style="list-style-type: none"> ・発達障害を始めとする特別支援教育に関する教職員の指導力や対応力を更に向上させるための効果的な研修を実施する。 ・効果的な保幼小連携のため、各施設・学校の特別支援教育担当者が情報交換等の機会を設定する。

学識経験者の意見		
<ul style="list-style-type: none"> ・障害を持つ子は早い段階で見つけ、適切に対応していくことが重要である。保幼小連携はとても大事だと思うので、関係機関との情報交換等を綿密に行ってほしい。 ・担当が一人で問題を抱え込むことのないよう、校長・教頭等に相談できる体制を整えてほしい。 ・児童生徒一人一人の成長のためにとっても大事な事業なので、持続して円滑に行われるよう、教育委員会が学校を支援してほしい。 		
評 価	評価結果	今後の取組・方向性（次年度以降にどうつなげていくのか など）
	B	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育に係る教職員の指導力・対応力の向上を図るための研修会を充実し、各学校における落ち着いた学習環境づくりの推進に努めます。 ・引き続き、関係機関等との連携をより一層強化し、丁寧な就学指導に努めます。 ・「呉市幼児教育振興計画」に基づく保幼小連携や関係機関等との連携を継続するとともに、保幼小合同研修の実施や小学校入学前からの情報共有などにより特別支援教育の充実に努めます。

平成29年度点検・評価シート

		担当課	学校安全課																																	
点検項目	生徒指導の充実	点検項目の位置付け	Ⅱ 基本政策(いじめ・不登校や問題行動等への取組)																																	
目的 (何のためにこの事業を行っているのか、どのような状態になることを意図しているのか など)																																				
児童生徒一人一人の個性の伸長を図るとともに、社会的な資質や能力、態度を育成していくため。																																				
【参考】 前回評価結果 (今後の取組・方向性)																																				
<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の専門家による研修会を通じた教職員の指導力向上及び問題行動が起こりにくい落ち着いた環境づくりに努める。 ・「いじめ防止基本方針」に基づく、いじめの未然防止、早期発見・早期対応に向けた生徒指導体制の充実に努める。 ・警察等関係機関との緊密な連携及びスクールサポーターの効果的な派遣を通じた問題行動の未然防止に努める。 																																				
成果目標	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の視点を踏まえた落ち着いた環境づくりの取組の徹底(実施率100%) ・いじめの早期発見、早期対応による早期解消と未然防止の取組の充実(認知件数1割増：143件) ・スクールサポーター派遣校における暴力行為の未然防止(暴力行為減少率20%：前年度比) 																																			
平成28年度事業(取組)実績	<ol style="list-style-type: none"> 問題行動が起こりにくい落ち着いた環境づくり <ol style="list-style-type: none"> 特別支援教育の専門家による研修会の実施 「呉市のスタンダード(「掲示」「ロッカー」「机・椅子」)」の取組の推進と徹底 いじめの未然防止、早期発見・早期対応のための生徒指導体制づくり <ol style="list-style-type: none"> いじめアンケートや個人面談等を通じた情報把握及び情報共有を基にした学校体制による早期対応の徹底 「いじめ撲滅キャンペーン」(年間2回)や「いじめ撲滅プロジェクトチーム研究大会」の実施 「呉市自立支援サポート委員会」の開催(年間2回) 問題行動の未然防止に向けた取組 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>呉市スクールカウンセラー派遣回数(回)</td> <td>62</td> <td>64</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td>メンタルフレンド派遣回数(回)</td> <td>132</td> <td>75</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>スクールサポーター派遣校における暴力行為減少率：前年比(%)</td> <td>20.0</td> <td>23.1</td> <td>17.4</td> </tr> </tbody> </table> <p><生徒指導上の諸問題の状況> (小中合計)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>暴力行為発生件数(件)</td> <td>49</td> <td>64</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td>いじめ認知件数(件)</td> <td>69</td> <td>130</td> <td>184</td> </tr> <tr> <td>不登校児童生徒数(人)</td> <td>132</td> <td>133</td> <td>142</td> </tr> </tbody> </table> 				項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	呉市スクールカウンセラー派遣回数(回)	62	64	76	メンタルフレンド派遣回数(回)	132	75	90	スクールサポーター派遣校における暴力行為減少率：前年比(%)	20.0	23.1	17.4	項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	暴力行為発生件数(件)	49	64	69	いじめ認知件数(件)	69	130	184	不登校児童生徒数(人)	132	133	142
項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度																																	
呉市スクールカウンセラー派遣回数(回)	62	64	76																																	
メンタルフレンド派遣回数(回)	132	75	90																																	
スクールサポーター派遣校における暴力行為減少率：前年比(%)	20.0	23.1	17.4																																	
項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度																																	
暴力行為発生件数(件)	49	64	69																																	
いじめ認知件数(件)	69	130	184																																	
不登校児童生徒数(人)	132	133	142																																	
事業費	年度	平成27年度(決算額)	平成28年度(決算額)	平成29年度(予算額)																																
財源内訳	事業費合計	59,280 千円	56,872 千円	58,098 千円																																
	国庫支出金	千円	千円	700 千円																																
	県支出金	331 千円	千円	331 千円																																
	地方債	千円	千円	千円																																
	その他	185 千円	142 千円	164 千円																																
	一般財源	58,764 千円	56,730 千円	56,903 千円																																
達成事項(成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が集中できる学習環境づくりのため、呉市全体で「呉市のスタンダード」の取組を推進したこと(実施率100%) ・学校体制でいじめを積極的に認知し、いじめの早期発見、早期対応が図られたこと(認知件数H27:130件→H28:184件) ・スクールサポーター派遣校における暴力行為が減少したこと(前年比17.4%減) 																																			

課題
<ul style="list-style-type: none"> ・中学校では、他校生徒とのつながりの中で問題行動に至るケースがあること。 ・問題行動等の背景に、心の問題とともに家庭環境の問題等様々な問題が複雑に絡みあっているケースがあること。
課題解決の取組
<ul style="list-style-type: none"> ・スクールサポーターの活用を図るとともに、未然防止に向けた学校の生徒指導体制や学校間の連携を強化する。 ・学校と福祉機関等とのネットワークを活用した効果的な支援を行う。

学識経験者の意見
<ul style="list-style-type: none"> ・いじめは早期発見が大事である。また、いじめを許さない雰囲気づくりが必要である。 ・LINEなどのSNSについて、教育委員会が保護者と連携しながらルール作りを行ってほしい。 ・PTAをはじめとした保護者と学校の連携を密にしてほしい。

	評価結果	今後の取組・方向性（次年度以降にどうつなげていくのか など）
評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、スクールサポーターやスクールソーシャルワーカー等の効果的な派遣を通して、警察等関係機関との連携を強化し、協働して問題行動の未然防止に努めます。 ・問題行動等の未然防止に向けて、落ち着いた学校環境づくりを徹底・継続するとともに、特別支援教育の視点に立った指導や児童生徒の心に寄り添う指導の充実に努めます。

平成29年度点検・評価シート

		担当課	学校安全課
点検項目	安全対策の推進	点検項目の位置付け	Ⅱ 基本政策 (安全・安心な環境づくり)

目的 (何のためにこの事業を行っているのか、どのような状態になることを意図しているのか など)

児童生徒の安全な生活を確保するために、学校、家庭、地域及び関係諸機関が協力・連携して、地域全体で子どもを見守る体制をつくとともに、自らの危機回避能力を育てるため。

【参考】 前回評価結果 (今後の取組・方向性)

- ・「呉市通学路交通安全プログラム」に基づく組織的かつ計画的な危険箇所の改善対策を推進する。
- ・豪雨による土砂災害等を想定した「呉市防災教育のための手引」及び「土砂災害対応マニュアル」の2次案を作成する。
- ・「学校メール配信システム」の登録件数増加に向けた積極的な周知・啓発を行う。

成果目標	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故発生件数及び登下校時の発生件数の減少 (前年度比2割減: 22件[総数], 7件[登下校時]) ・「学校メール配信システム」登録件数の増加 (前年度比1割増: 27, 525件) 				
平成28年度 事業 (取組) 実績	1 登下校の安全対策	(1) 「呉子ども交通安全推進隊」による活動の実施 (全小学校で年6回以上) (2) 「交通安全教室」 (全小・中学校) 及び小学校入学前の交通安全指導の実施 (全小学校) (3) 通学路の危険箇所の改善要望に対する対応			
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	要望箇所 (件)	42	19	17	
	合同点検回数 (回) 【実施率】	42 【100%】	19 【100%】	17 【100%】	
	改善件数 (件)	27	10	3	
	〈交通事故発生件数〉 【 】は登下校中の発生件数				
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	小学校 (件)	10 【9】	18 【6】	10 【6】	
	中学校 (件)	2 【2】	4 【1】	3 【3】	
	合計 (件)	12 【11】	22 【7】	13 【9】	
2 防災対策	(1) 「地震・津波災害対応マニュアル」の改善及び地域と連携した防災訓練の実施 〈防災・防犯訓練実施状況〉				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
合計 (回) 【実施校数】	192 【全65校】	199 【全65校】	191 【全62校】		
(2) モデル校での実践を通じた「呉市防災教育のための手引」及び「土砂災害対応マニュアル」2次案の作成					
3 安全対策に係る情報発信	〈学校メール配信システムの運用状況〉				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
登録件数 (件)	21, 744	25, 023	28, 048		
保護者登録件数 (件)	15, 731 (93%)	16, 448 (98%)	17, 637 (107%)		
地域・教職員等登録件数 (件)	6, 013	8, 575	10, 411		
発信回数 (回)	2, 213	2, 268	2, 867		
(())内は登録率					
事業費	年度	平成27年度 (決算額)	平成28年度 (決算額)	平成29年度 (予算額)	
	事業費合計	7, 156 千円	2, 587 千円	3, 152 千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		地方債	千円	千円	千円
		その他	1, 000 千円	千円	千円
一般財源	6, 156 千円	2, 587 千円	3, 152 千円		
達成事項 (成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故発生件数が減少したこと (H27: 22件→H28: 13件 前年度比41%減)。 ・「学校メール配信システム」の登録件数が増加したこと (H27: 25, 023件→H28: 28, 048件, 前年度比12%増加)。 				

課題
<ul style="list-style-type: none"> ・通学路の改善対策とともに、交通安全指導の徹底を図り、引き続き交通事故の減少に取り組む必要があること。
課題解決の取組
<ul style="list-style-type: none"> ・警察署や交通安全協会等の協力の下に、交通安全指導の内容の充実や指導の徹底を図り、より一層安全教育を推進する。 ・関係機関等との連携を継続し、「呉市通学路交通安全プログラム」に基づく通学路の改善対策を計画的に進める。

学識経験者の意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・子供の安全対策について、地域を巻き込んで考えてほしい。 ・地域により防災意識の格差があるように見える。児童生徒を防災訓練等に参加させることにより、防災意識を高める必要がある。 ・特別支援学級在籍や外国籍で日本語が十分でない等情報を得にくい家庭の児童生徒・保護者への対応もお願いしたい。 	
評価	今後の取組・方向性（次年度以降にどうつなげていくのか など）
A	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、関係機関等との連携を図り、「呉市通学路交通安全プログラム」に基づく組織的かつ計画的な危険箇所の改善対策を推進します。 ・「呉市防災教育のための手引」及び「土砂災害対応マニュアル」の2次案を生かした各学校での実践を基に、2次案の検証を通して「呉市防災教育のための手引」の最終案を作成します。 ・引き続き、保護者及び地域住民に対して、「学校メール配信システム」への登録を積極的に周知・啓発することにより、登録件数を増やし、より一層効果的な活用を行います。

平成29年度点検・評価シート

		担当課	文化振興課																				
点検項目	青少年健全育成事業の推進	点検項目の位置付け	Ⅱ 基本政策(社会教育) 基本施策(家庭教育・青少年教育の充実)																				
目的 (何のためにこの事業を行っているのか、どのような状態になることを意図しているのか など)																							
地域成人式や青少年の善行等の表彰などの各種事業を、地域を始めとする各関係団体や関係機関と協力・連携しながら実施することで、青少年の健全育成を推進するため。																							
【参考】 前回評価結果 (今後の取組・方向性)																							
成果目標	<ul style="list-style-type: none"> 成人式参加率 (成人式参加者数÷成人対象者数×100) → (H31 80%) 青少年の善行等の表彰件数 → (H31 10件) 																						
平成28年度 事業(取組)実績	1 成人式 (1) 平成21年度統一開催から地域開催へ移行 (2) 各地区に地域成人式補助金を交付 (H28 補助金額 4,000千円 18地区に交付) (3) はたちのパスポート (H28から海自カレー販売店に協力依頼) (4) 各地域で特色ある記念行事や恩師を交えた同窓会などを開催 (5) 成人式の参加率等の推移																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>平成20年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催方法</td> <td>統一開催</td> <td>地域開催</td> <td>地域開催</td> </tr> <tr> <td>成人者数</td> <td>2,453人</td> <td>2,231人</td> <td>2,311人</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>1,255人</td> <td>1,677人</td> <td>1,786人</td> </tr> <tr> <td>参加率</td> <td>51.2%</td> <td>75.2%</td> <td>77.3%</td> </tr> </tbody> </table>				年 度	平成20年度	平成27年度	平成28年度	開催方法	統一開催	地域開催	地域開催	成人者数	2,453人	2,231人	2,311人	参加者数	1,255人	1,677人	1,786人	参加率	51.2%	75.2%
年 度	平成20年度	平成27年度	平成28年度																				
開催方法	統一開催	地域開催	地域開催																				
成人者数	2,453人	2,231人	2,311人																				
参加者数	1,255人	1,677人	1,786人																				
参加率	51.2%	75.2%	77.3%																				
	2 青少年の善行等の表彰 (1) 善行青少年表彰：優れた行為のあった満25歳未満の青少年 (2) 優良青少年団体表彰：優れた活動によって他の模範となっている青少年団体 (3) 青少年健全育成成功労者表彰：青少年の健全育成に顕著な功績があった者 (4) 表彰件数の推移																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>善行青少年表彰</td> <td></td> <td></td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>優良青少年団体表彰</td> <td>1件</td> <td></td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>青少年健全育成成功労者表彰</td> <td>3件</td> <td>4件</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>4件</td> <td>4件</td> <td>8件</td> </tr> </tbody> </table>				年 度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	善行青少年表彰			1件	優良青少年団体表彰	1件		2件	青少年健全育成成功労者表彰	3件	4件	5件	合 計	4件	4件
年 度	平成26年度	平成27年度	平成28年度																				
善行青少年表彰			1件																				
優良青少年団体表彰	1件		2件																				
青少年健全育成成功労者表彰	3件	4件	5件																				
合 計	4件	4件	8件																				
事業費	年度	平成27年度(決算額)	平成28年度(決算額)	平成29年度(予算額)																			
	事業費合計	5,107 千円	4,804 千円	4,916 千円																			
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円																		
		県支出金	千円	千円	千円																		
		地方債	千円	千円	千円																		
		その他	2,000 千円	2,000 千円	千円																		
一般財源		3,107 千円	2,804 千円	4,916 千円																			
達成事項(成果)	<ul style="list-style-type: none"> 成人式参加率 (成人式参加者数÷成人対象者数×100) → (H28 77.3%) 青少年の善行等の表彰件数 → (H28 8件) 成人式 (各関係機関の協体制の充実, 各担当課のPR意識の向上) 青少年善行表彰 (関係団体等に対する情報提供の充実) 																						

<p>課題</p> <p>1 成人式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加率の更なる向上 ・成人式を通じて地域住民と新成人が一層交流できる更なる仕組みづくり <p>2 青少年の善行等の表彰</p> <ul style="list-style-type: none"> ・善行表彰制度の更なる周知 ・広く市民にPRできる表彰式の開催 (参考 H28オーク賞の表彰式は、本庁シビックモールで開催(一般公開))
<p>課題解決の取組</p> <p>1 成人式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新成人が参加したくなるような、各地区の特色を生かした魅力ある成人式の開催 ・地域と新成人のきずなが深まるような成人式の事例を紹介 <p>2 青少年の善行等の表彰</p> <ul style="list-style-type: none"> ・善行表彰に関する広報を効果的に行うことによる推薦件数の増加 ・表彰式の内容を見直すなど、多くの市民に善行表彰を知ってもらえるような広報の検討

<p>学識経験者の意見</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・成人式について、2, 3年違えばしこうも変わるので、出席者が何を求めているかを常に把握する必要がある。 ・ささいな善いことをしている青少年を数多く知っている。そのことについて、大人が正当に評価する必要がある。 		
<p>評 価</p>	<p>評価結果</p>	<p>今後の取組・方向性(次年度以降にどうつなげていくのか など)</p>
	<p>A</p>	<p>1 成人式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域と新成人のきずなが深まる、特色を生かした魅力ある成人式の開催に努めます。 <p>2 青少年の善行等の表彰</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推薦件数の増加とともに、市民の励みになるよう積極的な広報を行います。

平成29年度点検・評価シート

		担当課	文化振興課																														
点検項目	文化財の活用と管理	点検項目の位置付け	Ⅱ 基本政策（文化・スポーツ） 基本施策（文化の振興）																														
目的（何のためにこの事業を行っているのか、どのような状態になることを意図しているのか など）																																	
呉市の「お宝」である文化財を保存活用することで、「魅力あるまちづくり」に貢献し、ふるさと「呉」に対する郷土愛を育むため。																																	
【参考】前回評価結果（今後の取組・方向性）																																	
<ul style="list-style-type: none"> 文化財について、文化財保護事業の意義や文化的価値の継続的な広報を行う。 文化的資源について、文化財保護委員と連携を図り調査・研究を行う。 歴史文化資源の文化的価値を高め、観光資源として積極的に情報発信等を行うため観光部局と連携協力を検討する。 																																	
成果目標	<ul style="list-style-type: none"> 旧澤原家住宅公開事業の参加者数 200人 御手洗地区文化施設への来館者数 4,000人 																																
平成28年度事業（取組）実績	<p>呉市内の指定・登録文化財数は、平成28年度末で153件であり、当課が所管する文化財の管理・活用として、次の事業を実施した。</p> <p>1 旧澤原家住宅（国重要文化財）を一般公開することで、地域の生きた歴史として活用した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般公開実施回数</td> <td>6回</td> <td>6回</td> <td>7回</td> </tr> <tr> <td>一般公開参加人数</td> <td>80人</td> <td>64人</td> <td>157人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成28年度は、アニメ映画「この世界の片隅に」に併せて実施した特別公開の参加人数114名を含む。</p> <p>2 豊町御手洗伝統的建造物群保存地区内にある建物の修理・修景事業に対して補助を行い、歴史的町並みの保存を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>修理・修景件数</td> <td>2件</td> <td>2件</td> <td>2件</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 旧金子家住宅（市文化財）は、公開活用を目指した復原修理を実施している。</p> <p>4 旧呉海軍工場のれんが建物である海上保安大学のれんがホールについて、呉市指定有形文化財に指定した（指定年月日：平成29年12月20日）。</p> <p>5 平成28年3月30日に「朝鮮人來朝覚備前御馳走船行烈図」をユネスコ世界記憶遺産登録申請している（登録決定時期：平成29年秋頃）。</p> <p>6 旧軍港四市（横須賀市・呉市・佐世保市・舞鶴市）が平成28年4月25日付で日本遺産の認定を受け、4市が共同して、日本遺産の魅力発信のための事業を実施する中で、9月に日本遺産WEEKとして、呉地方総監部などの構成文化財の公開事業を実施した。</p>				項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	一般公開実施回数	6回	6回	7回	一般公開参加人数	80人	64人	157人	項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	修理・修景件数	2件	2件	2件									
項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度																														
一般公開実施回数	6回	6回	7回																														
一般公開参加人数	80人	64人	157人																														
項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度																														
修理・修景件数	2件	2件	2件																														
事業費	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>平成27年度(決算額)</th> <th>平成28年度(決算額)</th> <th>平成29年度(予算額)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費合計</td> <td>34,506 千円</td> <td>82,141 千円</td> <td>79,113 千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">財源内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td>8,450 千円</td> <td>39,962 千円</td> <td>37,616 千円</td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td>1,128 千円</td> <td>1,128 千円</td> <td>1,128 千円</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> <td>千円</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>672 千円</td> <td>891 千円</td> <td>665 千円</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>24,256 千円</td> <td>40,160 千円</td> <td>39,704 千円</td> </tr> </tbody> </table>				年度	平成27年度(決算額)	平成28年度(決算額)	平成29年度(予算額)	事業費合計	34,506 千円	82,141 千円	79,113 千円	財源内訳	国庫支出金	8,450 千円	39,962 千円	37,616 千円	県支出金	1,128 千円	1,128 千円	1,128 千円	地方債		千円	千円	その他	672 千円	891 千円	665 千円	一般財源	24,256 千円	40,160 千円	39,704 千円
年度	平成27年度(決算額)	平成28年度(決算額)	平成29年度(予算額)																														
事業費合計	34,506 千円	82,141 千円	79,113 千円																														
財源内訳	国庫支出金	8,450 千円	39,962 千円	37,616 千円																													
	県支出金	1,128 千円	1,128 千円	1,128 千円																													
	地方債		千円	千円																													
	その他	672 千円	891 千円	665 千円																													
	一般財源	24,256 千円	40,160 千円	39,704 千円																													
達成事項（成果）	<ul style="list-style-type: none"> 旧澤原家住宅公開事業の参加者数 157人（アニメ映画「この世界の片隅に」特別公開参加者数を含む。） 御手洗地区文化施設への来館者数 4,305人（江戸みなとまち展示館・乙女座来館者数） 日本遺産認定を生かした情報発信 文化財の保存修理 																																

課題
<ul style="list-style-type: none"> ・文化財の歴史的価値や魅力を認識してもらうための取組 ・文化財の適切な保存及び活用の促進
課題解決の取組
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校等への文化財見学会の呼び掛け及び企画・実施の担い手の育成のための歴史講座の実施 ・日本遺産及び世界記憶遺産登録を生かした情報発信による積極的な文化財の啓発 ・伝統的建造物群保存地区は、課題や今後の取組について地元団体と協議するとともに、事業の企画・実施に当たり高等教育機関との連携協力の取組に努める。

学識経験者の意見
<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事で児童に日本遺産を見せることは良いことだと思う。呉を知ることが大事であり、子供が呉の歴史を語れるようになるため、呉の良いところをあらゆる方法で子供に伝えてほしい。 ・呉の歴史を知る上で、日本遺産といった明るい話題だけでなく、呉空襲慰霊祭など戦争の悲惨さや平和の大切さも含めて子供に伝えてほしい。

	評価結果	今後の取組・方向性（次年度以降にどうつなげていくのか など）
評価	A	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財に興味・関心のある市民に対して、呉市の歴史・文化講座を開催し、専門的知識を有する市民等を養成するとともに、その専門知識を生かして、歴史講座の講師又は地域のガイドとして、小・中学生を含めた市民や来訪者に対して呉市の歴史・文化の情報発信を行ってもらうことで、文化財の活用・継承意識の向上を図ります。また、文化的資源についても、文化財保護委員と連携を図り、情報収集など調査・研究していきます。 ・日本遺産の認定やユネスコ世界記憶遺産登録などの機会を捉え、市内の歴史文化資源（文化財・伝統文化・地域の伝承）の歴史的価値や魅力について、市民が再認識する啓発活動に取り組み、呉市全体の文化的価値を高めると同時に、観光資源として積極的に情報発信・活用するため観光部局との連携協力を検討します。

平成29年度点検・評価シート

		担当課	中央図書館																					
点検項目	図書館サービスの向上	点検項目の位置付け	Ⅱ 基本政策(社会教育) 基本施策(生涯学習の推進)																					
目的 (何のためにこの事業を行っているのか、どのような状態になることを意図しているのか など)																								
市民の多様化する学習ニーズに応え、生涯にわたり市民が学び、楽しむ、地域の情報拠点として、誰もが身近に利用できる図書館にするため。																								
【参考】 前回評価結果 (今後の取組・方向性)																								
<ul style="list-style-type: none"> ・施設の長寿命化を図るため、計画的な改修を実施する。 ・利用者数の増加を図るため、行事・イベント等の企画・実施と図書館だよりを活用する。 ・「健康づくり」など地域の課題に対応した情報を整備及び発信する。 ・利用者と本を結びつける場となるべく、選書・レファレンス能力の向上に努める。 																								
成果目標	・人口一人当たりの貸出点数：4.3冊																							
平成28年度 事業(取組)実績	1 予約サービスの推進のほか、平成29年1月から貸出冊数の上限を10冊にするなど、サービスの向上を図った。																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>利用状況</th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入館者数</td> <td>929,598 人</td> <td>911,156 人</td> <td>835,546 人</td> </tr> <tr> <td>貸出者数</td> <td>351,113 人</td> <td>347,209 人</td> <td>326,381 人</td> </tr> <tr> <td>貸出冊数</td> <td>971,052 冊</td> <td>960,136 冊</td> <td>931,370 冊</td> </tr> <tr> <td>予約サービス件数</td> <td>146,590 件</td> <td>147,268 件</td> <td>153,352 件</td> </tr> </tbody> </table>				利用状況	平成26年度	平成27年度	平成28年度	入館者数	929,598 人	911,156 人	835,546 人	貸出者数	351,113 人	347,209 人	326,381 人	貸出冊数	971,052 冊	960,136 冊	931,370 冊	予約サービス件数	146,590 件	147,268 件	153,352 件
	利用状況	平成26年度	平成27年度	平成28年度																				
	入館者数	929,598 人	911,156 人	835,546 人																				
	貸出者数	351,113 人	347,209 人	326,381 人																				
貸出冊数	971,052 冊	960,136 冊	931,370 冊																					
予約サービス件数	146,590 件	147,268 件	153,352 件																					
2 利用者と本を結びつけるきっかけづくりとして、定例の絵本の読み聞かせ会や全市のイベント「くれ絵本カーニバル」を始めとする各種イベントを開催した。																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>開催状況</th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>絵本会</td> <td>155回 延べ2,922人</td> <td>169回 延べ4,235人</td> <td>176回 延べ4,518人</td> </tr> <tr> <td>イベント</td> <td>10回 延べ2,126人</td> <td>11回 延べ2,320人</td> <td>10回 延べ1,937人</td> </tr> </tbody> </table>				開催状況	平成26年度	平成27年度	平成28年度	絵本会	155回 延べ2,922人	169回 延べ4,235人	176回 延べ4,518人	イベント	10回 延べ2,126人	11回 延べ2,320人	10回 延べ1,937人									
開催状況	平成26年度	平成27年度	平成28年度																					
絵本会	155回 延べ2,922人	169回 延べ4,235人	176回 延べ4,518人																					
イベント	10回 延べ2,126人	11回 延べ2,320人	10回 延べ1,937人																					
3 学校と連携し、ブックリストを作成して小中学校へ配付の上、読書感想文を募集、表彰したほか、子ども司書養成講座を実施した。																								
4 子どもの読書意欲を高めるため、読書通帳の配付を始めた。																								
5 市政だより、ホームページ、図書館だより等、広報の強化に努めた。																								
事業費	年度	平成27年度(決算額)	平成28年度(決算額)	平成29年度(予算額)																				
	事業費合計	46,734 千円	46,907 千円	46,803 千円																				
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円																			
		県支出金	千円	千円	千円																			
		地方債	千円	千円	千円																			
		その他	192 千円	216 千円	300 千円																			
一般財源	46,542 千円	46,691 千円	46,503 千円																					
達成事項(成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度人口一人当たりの貸出点数：4.1冊 ・絵本会や各種イベント等読書推進活動の定着 ・貸出点数減少傾向の回復(平成29年1月以降) 		<table border="1"> <thead> <tr> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.1冊</td> <td>4.1冊</td> <td>4.1冊</td> </tr> </tbody> </table>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	4.1冊	4.1冊	4.1冊														
平成26年度	平成27年度	平成28年度																						
4.1冊	4.1冊	4.1冊																						

課題
・入館者数の減少
課題解決の取組
・イベント等を通じた図書館と利用者との結びつきの強化 ・レファレンスによる問題解決等，図書館の魅力・活用法についての積極的な情報発信 ・図書資料の充実

学識経験者の意見
・学生が勉強している姿をよく見かける。学生に図書館を身近に感じさせることが大事である。 ・各図書館に健康づくりのコーナーを設置したり，イベントを実施したりしているとのことだが，今後も継続して実施してほしい。

評価	評価結果	今後の取組・方向性（次年度以降にどうつなげていくのか など）
	B	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力のある行事・イベント等を企画・実施するとともに，学校やまちづくりセンター等との連携を強化して，新たな利用者層の開拓に取り組みます。 ・図書館と利用者を結びつけるための情報発信に努めます。 ・利用者ニーズに沿った蔵書構成や資料整備に取り組みます。

平成29年度点検・評価シート

		担当課	中央図書館
点検項目	図書館の適正な管理運営	点検項目の位置付け	Ⅱ 基本政策(社会教育) 基本施策(生涯学習の推進)
目的 (何のためにこの事業を行っているのか、どのような状態になることを意図しているのか など)			
施設やシステムの維持管理, 人材育成を効果的で効率的に実施することで, 市民に広く利用され, 長く愛される図書館を構築するため。			
【参考】 前回評価結果 (今後の取組・方向性)			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館の管理・運営体制の適宜の見直しによる効率的な運営体制の維持を図る。 ・ 全職員の更なる知識・技術のレベルアップ及び接遇の向上を進める。 ・ 適正管理による昭和図書館の安定運営を図る。 			

成果目標	・ 人口一人当たりの管理運営経費：1,150円/人					
平成28年度 事業(取組)実績	1 段階的・計画的に, 正規職員から嘱託職員への移行を進めた。					
	職員体制	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25~27年度	平成28年度
	正規職員数	20人(3)	16人(3)	15人(2)	13人(2)	11人(2)
	嘱託職員数	31人(20)	37人(23)	40人(26)	43人(29)	43人(27)
	臨時職員数	13人(0)	12人(0)	12人(0)	12人(0)	10人(0)
合計	64人(23)	65人(26)	67人(28)	68人(31)	64人(29)	
	④ ()内は司書有資格者数 昭和図書館は平成28年度から窓口業務を委託					
	2 図書資料の選定・受入・登録等のほかに, 資料整備に係る予算管理や相互貸借についても, 嘱託職員に一部分担させ, ノウハウの継承に取り組んだ。					
	3 嘱託職員を含めた全職員を対象とする「奉仕事務取決事項」研修等の実施を始め, 広島県立図書館が実施する初任者研修・著作権研修等に参加した。					
	研修区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	奉仕事務取決事項研修	1回 延べ30人	5回 延べ63人	4回 延べ65人		
	県立図書館研修等	7回 延べ15人	6回 延べ8人	10回 延べ15人		
	4 中央図書館において, 内装クロス・タイルカーペット張り替え及び電動ブラインド改修の施設修繕を実施した。					
事業費	年度	平成27年度(決算額)	平成28年度(決算額)	平成29年度(予算額)		
	事業費合計	272,644 千円	292,793 千円	282,062 千円		
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円	
		県支出金	千円	千円	千円	
		地方債	千円	千円	千円	
		その他	689 千円	621 千円	628 千円	
一般財源	271,955 千円	292,172 千円	281,434 千円			
達成事項(成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成28年度人口一人当たりの管理運営経費(臨時経費を除く) : 1,130円/人 ・ 内装改修による中央図書館のイメージアップ ・ アウトソーシングの推進 ・ 司書職員のノウハウ共有化の推進 			平成26年度	平成27年度	平成28年度
				1,173円	1,149円	1,130円

課題
<ul style="list-style-type: none"> ・中央図書館をはじめとする施設の老朽化 ・司書資格者の確保・育成
課題解決の取組
<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な施設改修による施設の長寿命化 ・利用者が快適に過ごせる図書館環境の整備 ・新たな効率化方策の研究 ・各種研修への参加

学識経験者の意見
<ul style="list-style-type: none"> ・図書館には様々な人が訪れるので、研修の充実等によって、職員のレベルアップにつなげてほしい。 ・司書資格を所持する正規職員が少ないため、業務の継続性に不安を感じる。今後とも課題解決に取り組んでほしい。

	評価結果	今後の取組・方向性 (次年度以降にどうつなげていくのか など)
評価	A	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な施設改修により、施設の長寿命化を図ります。 ・研修受講機会の増加に努め、職員のレベルアップ及び接遇の向上を図ります。 ・安定的かつ効果的な運営手法について調査研究を行います。